

平成25年度 第3回

杉並区インターネット区民アンケート

集計結果報告書

区立施設の再編整備および使用料等の見直し
に関する区民アンケート



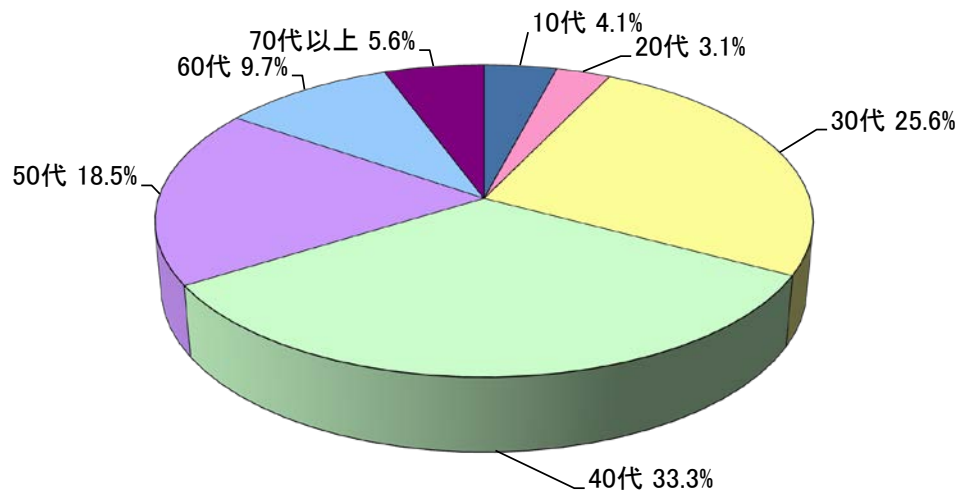
平成25年11月実施

杉並区総務部区政相談課

調査の概要

- 1 調査の目的** 区が策定した「杉並区区立施設再編再編整備計画（第一期）・第一次実施プラン（素案）」及び「使用料等の見直し（素案）」について、区民の皆さまからご意見を賜り、計画策定の参考とさせていただくため、区民アンケートを実施しました。
* インターネットアンケートの他、無作為抽出による1,000名の区民の方への郵送アンケートを実施。アンケート全体の所管課は政策経営部企画課施設再編・整備担当。
- 2 調査の内容** 区立施設の再編整備および使用料等の見直しに関する区民アンケート
- 3 調査期間** 平成25年11月14日（木）～11月30日（土）
- 4 回答者数** 195人（* インターネットアンケートの回答者数。以下同）
- 5 回答者構成** 単位：人

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	3	2	6	15	10	11	6	53
女性	5	4	44	50	26	8	5	142
合計	8	6	50	65	36	19	11	195



6 集計・分析にあたって

- (1) 各項の初めにあるNは、その設問の回答者数を表しています。
- (2) 百分率は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。
- (3) その他の意見と設問39、52の自由意見は、要約を掲載しました。

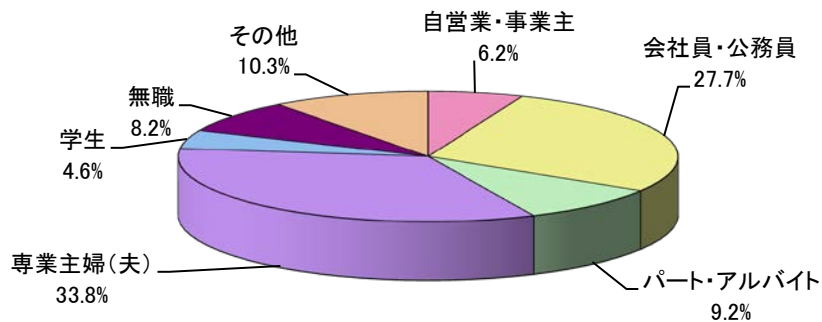
区立施設の再編整備および使用料等の見直しについて

設問1及び2は調査の概要に掲載済み

設問3 あなたの職業をお答えください。

N= 195

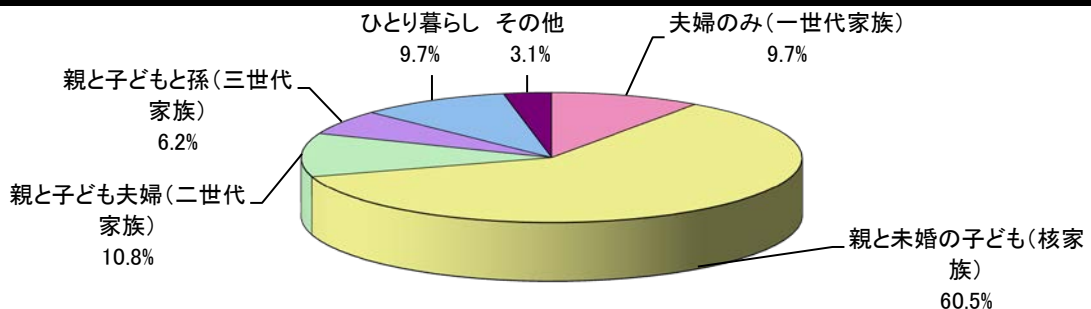
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 自営業	12	6.2%	男性	4	0	1	2	1
			女性	8				
② 会社員・公務員	54	27.7%	男性	22	3	14	8	5
			女性	32				
③ パート・アルバイト	18	9.2%	男性	1	1		12	5
			女性	17				
④ 専業主婦(夫)	66	33.8%	男性	0			47	16
			女性	66				
⑤ 学生	9	4.6%	男性	4	4			
			女性	5				
⑥ 無職	16	8.2%	男性	10			2	5
			女性	6				
⑦ その他	20	10.3%	男性	12			4	6
			女性	8				



設問4 あなたのお宅の家族構成は次のどれですか。

N= 195

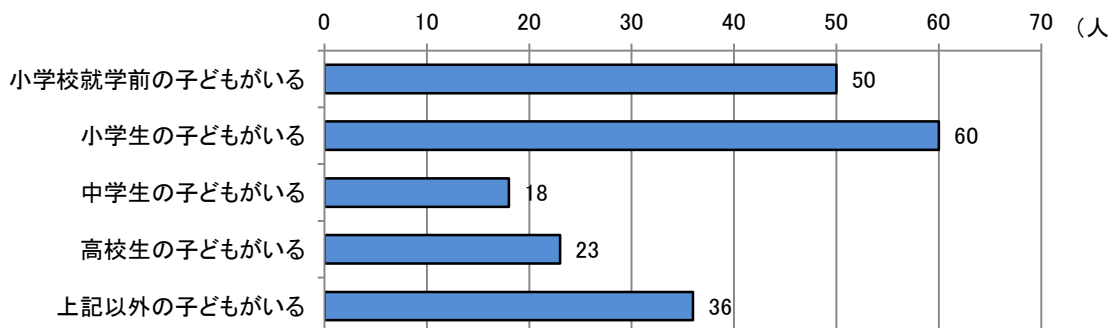
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 夫婦のみ(一世代家族)	19	9.7%	男性	12			6	6
			女性	7				
② 親と未婚の子ども(核家族)	118	60.5%	男性	24	5	15	4	4
			女性	94				
③ 親と子ども夫婦(二世世代家族)	21	10.8%	男性	7		3	4	1
			女性	14				
④ 親と子どもと孫(三世世代家族)	12	6.2%	男性	3		1	2	2
			女性	9				
⑤ ひとり暮らし	19	9.7%	男性	6	2	2	4	4
			女性	13				
⑥ その他	6	3.1%	男性	1			1	1
			女性	5				



設問5 (お子さんがいる方のみ)同居しているお子さんの状況についてお答えください。(複数回答可)

N= 141

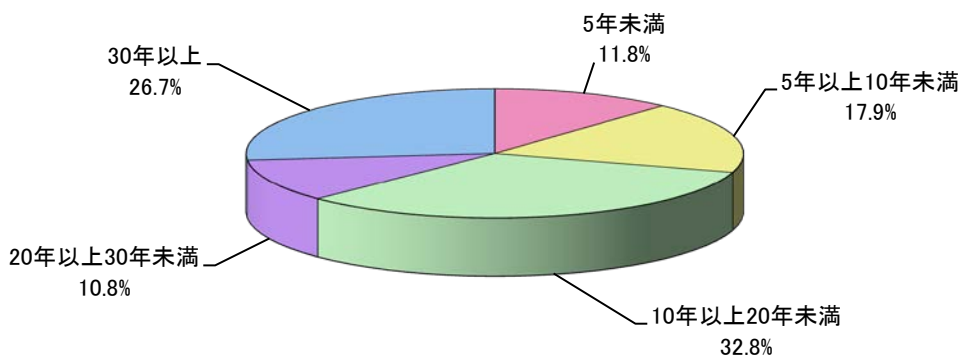
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 小学校就学前の子どもがいる	50	35.5%	男性	8		8		
			女性	42	1	40	1	
② 小学生の子どもがいる	60	42.6%	男性	10		10		
			女性	50		45	5	
③ 中学生の子どもがいる	18	12.8%	男性	6		3	3	
			女性	12	1	9	2	
④ 高校生の子どもがいる	23	16.3%	男性	5		3	2	
			女性	18		9	9	
⑤ 上記以外の子どもがいる	36	25.5%	男性	12		1	11	
			女性	24		5	18	1



設問6 あなたは杉並区にお住まいになってどれぐらいですか。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 5年未満	23	11.8%	男性	3		2	1	
			女性	20	4	15	1	
② 5年以上10年未満	35	17.9%	男性	9		7	2	
			女性	26		25	1	
③ 10年以上20年未満	64	32.8%	男性	14	3	8	3	
			女性	50	4	38	8	
④ 20年以上30年未満	21	10.8%	男性	7	2	1	4	
			女性	14	1	4	9	
⑤ 30年以上	52	26.7%	男性	20		3	11	6
			女性	32		12	15	5

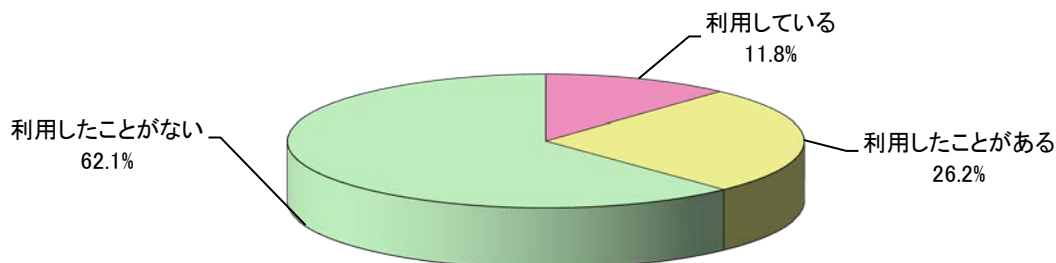


【区立施設の利用状況について】

設問7 区立保育園・子供園について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

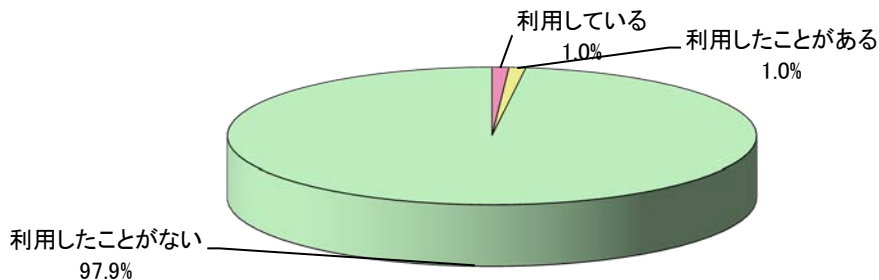
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	23	11.8%	男性	3			3	
			女性	20			19	1
② 利用したことがある	51	26.2%	男性	14	2		7	5
			女性	37	4		19	11
③ 利用したことがない	121	62.1%	男性	36	3		11	16
			女性	85	5		56	22



設問8 特別養護老人ホーム(民営施設)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

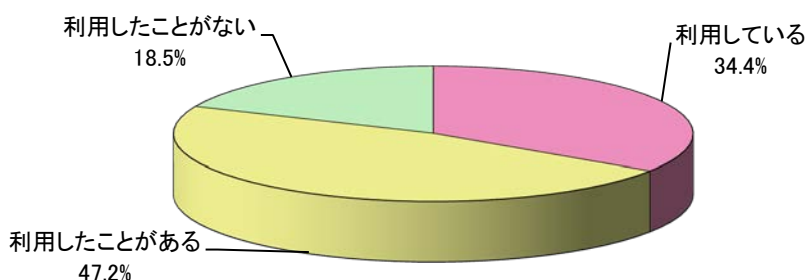
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	2	1.0%	男性	0				
			女性	2			2	
② 利用したことがある	2	1.0%	男性	1				1
			女性	1				1
③ 利用したことがない	191	97.9%	男性	52	5		21	21
			女性	139	9		92	34



設問9 区立学校施設(* 学校開放事業の施設《体育館、校庭、教室、開放プールなど》の利用を含む)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

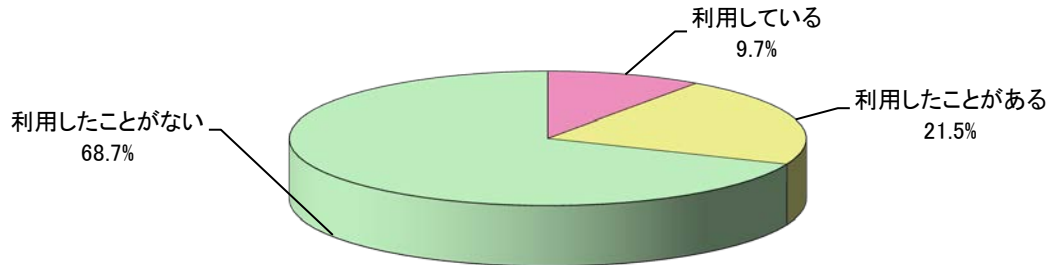
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	67	34.4%	男性	16			9	7
			女性	51	1		42	8
② 利用したことがある	92	47.2%	男性	23	5		4	10
			女性	69	6		36	23
③ 利用したことがない	36	18.5%	男性	14			8	4
			女性	22	2		16	3



設問10 児童館(学童クラブの利用)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

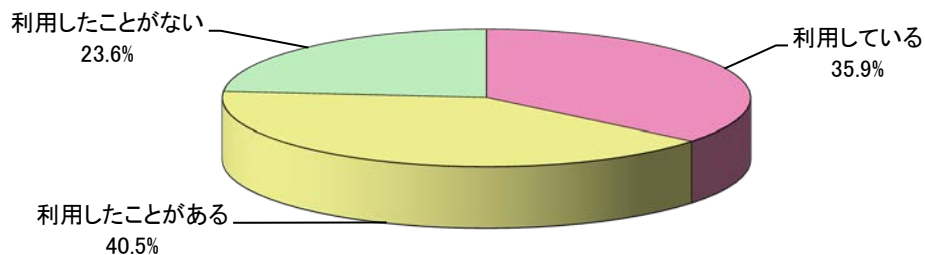
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	19	9.7%	男性	4		4		
			女性	15	1	12	2	
② 利用したことがある	42	21.5%	男性	12	2	4	5	1
			女性	30	3	13	11	3
③ 利用したことがない	134	68.7%	男性	37	3	13	16	5
			女性	97	5	69	21	2



設問11 児童館(学童クラブ以外での利用)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

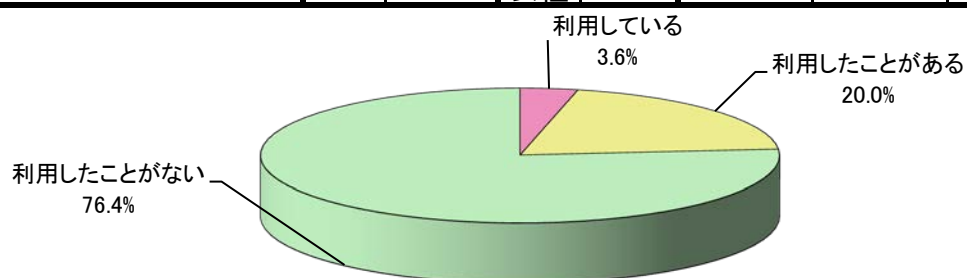
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	70	35.9%	男性	11	3	8		
			女性	59	4	49	6	
② 利用したことがある	79	40.5%	男性	15	1	6	8	
			女性	64	4	33	22	5
③ 利用したことがない	46	23.6%	男性	27	1	7	13	6
			女性	19	1	12	6	



設問12 ゆうゆう館について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

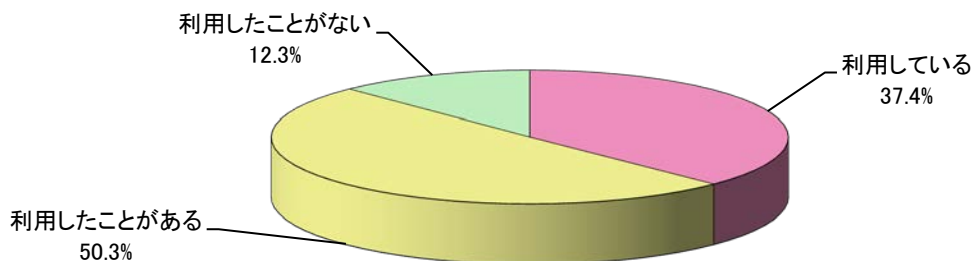
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	7	3.6%	男性	3		1		2
			女性	4		2	2	
② 利用したことがある	39	20.0%	男性	12	1	3	6	2
			女性	27	1	12	11	3
③ 利用したことがない	149	76.4%	男性	38	4	17	15	2
			女性	111	8	80	21	2



設問13 区立の集会施設(地域区民センター、区民集会所、区民会館、区民事務所会議室、杉並会館)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N= 195

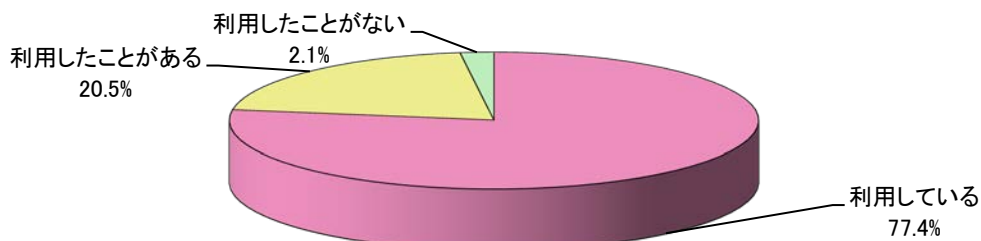
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	73	37.4%	男性	13	3	4	4	2
			女性	60	2	31	24	3
② 利用したことがある	98	50.3%	男性	28	1	10	13	4
			女性	70	7	52	9	2
③ 利用したことがない	24	12.3%	男性	12	1	7	4	
			女性	12		11	1	



設問14 区立図書館について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N= 195

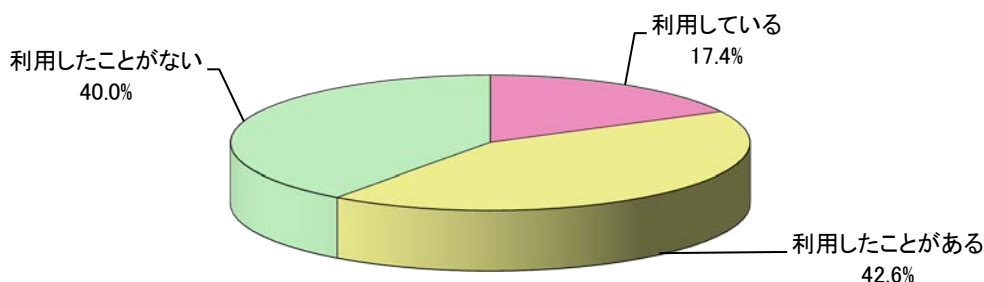
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	151	77.4%	男性	38	4	17	12	5
			女性	113	5	77	27	4
② 利用したことがある	40	20.5%	男性	14	1	3	9	1
			女性	26	3	16	6	1
③ 利用したことがない	4	2.1%	男性	1		1		
			女性	3	1	1	1	



設問15 科学館について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N= 195

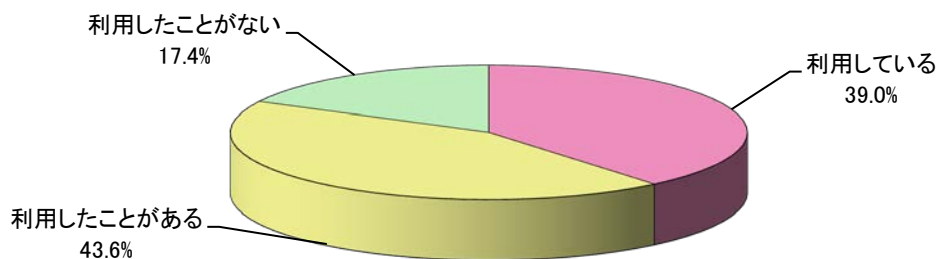
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	34	17.4%	男性	6	1	3	2	
			女性	28		21	7	
② 利用したことがある	83	42.6%	男性	21	4	6	9	2
			女性	62	5	37	16	4
③ 利用したことがない	78	40.0%	男性	26		12	10	4
			女性	52	4	36	11	1



設問16 区立の体育施設(体育館、運動場、プール)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

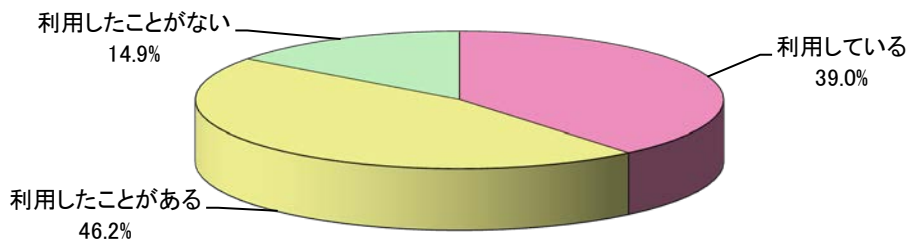
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	76	39.0%	男性	16		9	7	
			女性	60	1	48	11	
② 利用したことがある	85	43.6%	男性	25	3	8	10	4
			女性	60	3	34	20	3
③ 利用したことがない	34	17.4%	男性	12	2	4	4	2
			女性	22	5	12	3	2



設問17 区民事務所・分室・駅前事務所について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

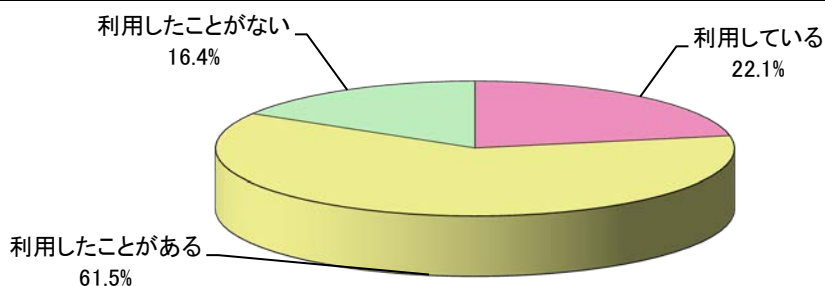
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	76	39.0%	男性	17	1	8	7	1
			女性	59	2	37	17	3
② 利用したことがある	90	46.2%	男性	23	1	8	11	3
			女性	67	3	46	16	2
③ 利用したことがない	29	14.9%	男性	13	3	5	3	2
			女性	16	4	11	1	



設問18 保健センターについて、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

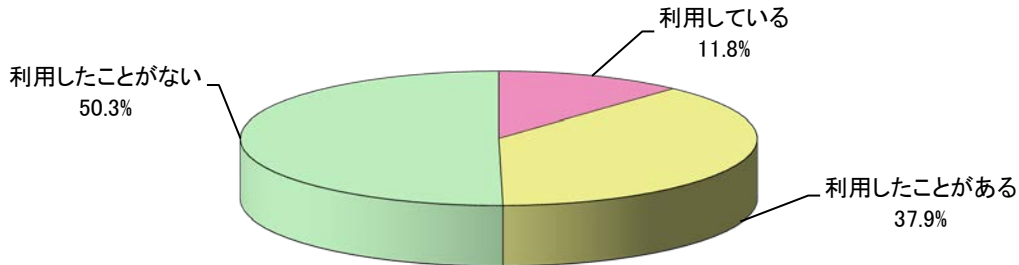
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	43	22.1%	男性	7		6		1
			女性	36	2	27	7	
② 利用したことがある	120	61.5%	男性	26	3	8	12	3
			女性	94	4	61	24	5
③ 利用したことがない	32	16.4%	男性	20	2	7	9	2
			女性	12	3	6	3	



設問19 産業商工会館について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

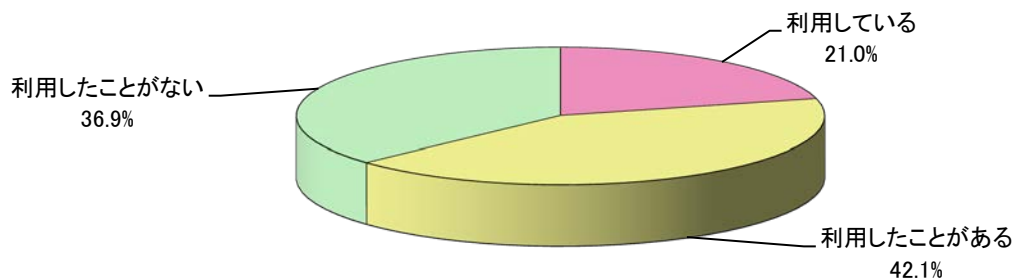
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	23	11.8%	男性	1				1
			女性	22	1	8	10	3
② 利用したことがある	74	37.9%	男性	20	2	5	11	2
			女性	54	5	33	15	1
③ 利用したことがない	98	50.3%	男性	32	3	16	10	3
			女性	66	3	53	9	1



設問20 あんさんぶる菰について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

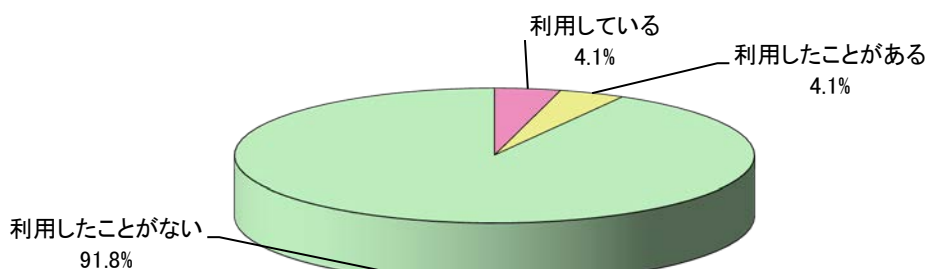
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	41	21.0%	男性	7	3	3	1	
			女性	34	2	13	16	3
② 利用したことがある	82	42.1%	男性	22	2	9	7	4
			女性	60	6	42	11	1
③ 利用したことがない	72	36.9%	男性	24		9	13	2
			女性	48	1	39	7	1



設問21 区立の障害者(児)通所施設について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

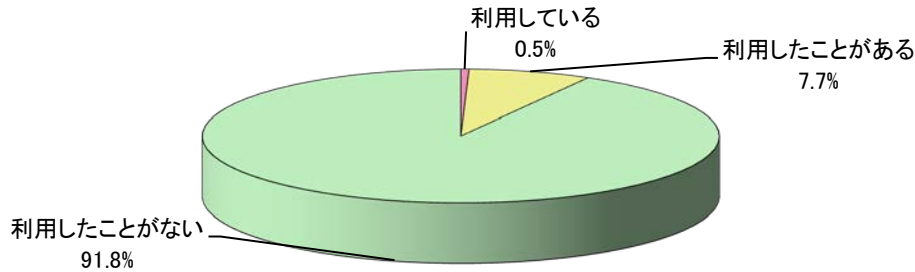
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	8	4.1%	男性	2		2		
			女性	6		6		
② 利用したことがある	8	4.1%	男性	2		2		
			女性	6		3	3	
③ 利用したことがない	179	91.8%	男性	49	5	17	21	6
			女性	130	9	85	31	5



設問22 障害者福祉会館について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

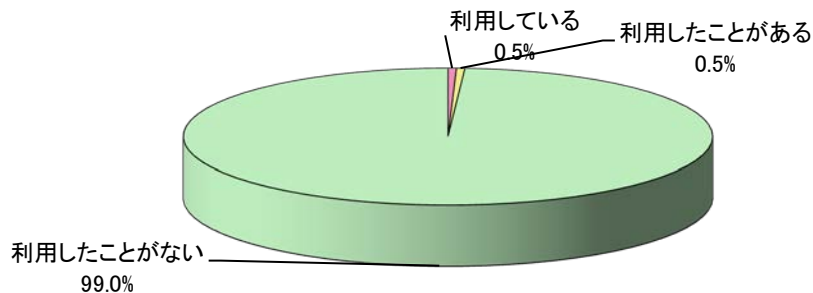
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	1	0.5%	男性 1	女性 0		1		
② 利用したことがある	15	7.7%	男性 3	女性 12	1	4	5	2
③ 利用したことがない	179	91.8%	男性 49	女性 130	5	17	21	6



設問23 公共住宅(区営住宅、高齢者住宅、区民住宅)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

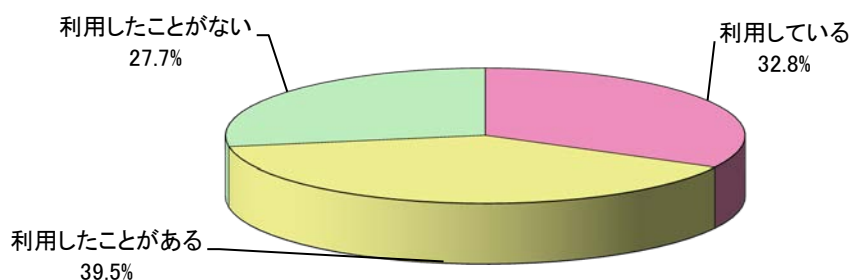
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	1	0.5%	男性 0	女性 1			1	
② 利用したことがある	1	0.5%	男性 0	女性 1				1
③ 利用したことがない	193	99.0%	男性 53	女性 140	5	21	21	6



設問24 区立の自転車駐車場(駐輪場)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N = 195

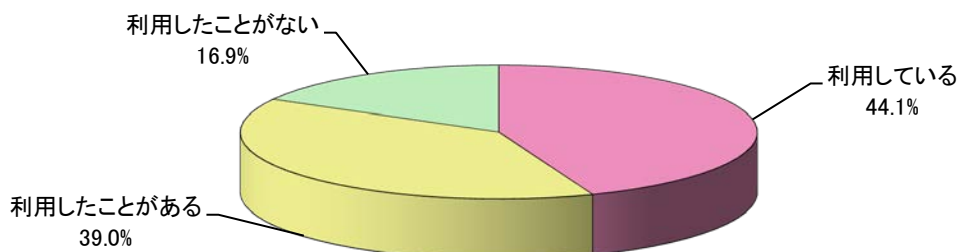
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	64	32.8%	男性 6	女性 58		4	1	1
② 利用したことがある	77	39.5%	男性 27	女性 50	3	13	11	2
③ 利用したことがない	54	27.7%	男性 20	女性 34	2	4	9	5



設問25 児童遊園・遊び場について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N= 195

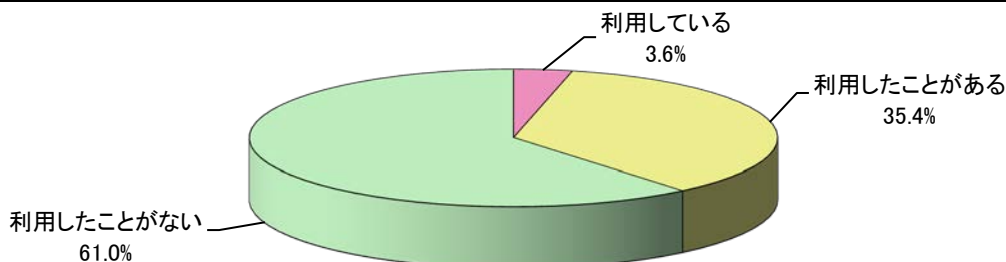
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	86	44.1%	男性	16	1	14		1
			女性	70	2	58	7	3
② 利用したことがある	76	39.0%	男性	20	4	4	11	1
			女性	56	4	32	19	1
③ 利用したことがない	33	16.9%	男性	17		3	10	4
			女性	16	3	4	8	1



設問26 民営化宿泊施設(湯の里「杉菜」、コニファーいわびつ、富士学園、弓ヶ浜クラブ)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N= 195

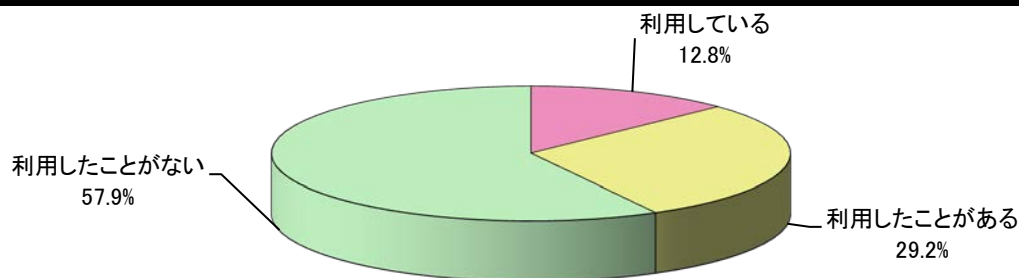
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	7	3.6%	男性	2	1			1
			女性	5			4	1
② 利用したことがある	69	35.4%	男性	12	3	2	6	1
			女性	57	3	36	15	3
③ 利用したことがない	119	61.0%	男性	39	1	19	15	4
			女性	80	6	58	15	1



設問27 区施設の有料駐車場(本庁舎、井草森公園、上井草スポーツセンター)について、あなたの利用状況を選択肢の中から一つ選んでください。

N= 195

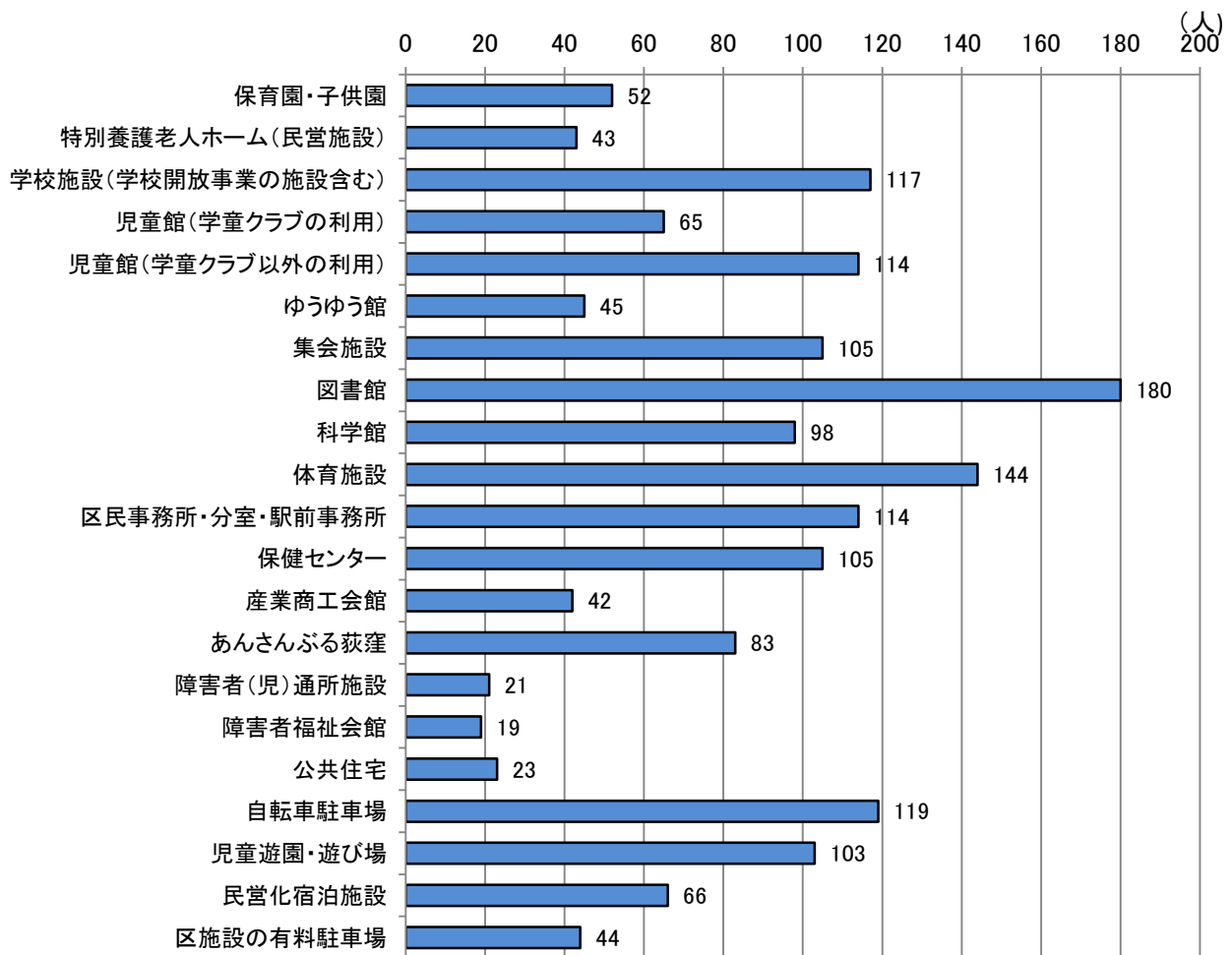
	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用している	25	12.8%	男性	4	1	1	2	
			女性	21		13	7	1
② 利用したことがある	57	29.2%	男性	16		7	8	1
			女性	41	1	25	15	
③ 利用したことがない	113	57.9%	男性	33	4	13	11	5
			女性	80	8	56	12	4



設問28 設問7から設問27で挙げた施設のうち、今後あなたが利用を希望している施設を下記の選択肢からお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 保育園・子供園	52	26.7%	男性	9	1	8		
			女性	43	1	36	6	
② 特別養護老人ホーム(民営施設)	43	22.1%	男性	12		5	3	4
			女性	31		16	14	1
③ 学校施設(学校開放事業の施設含む)	117	60.0%	男性	23	3	12	7	1
			女性	94	3	70	18	3
④ 児童館(学童クラブの利用)	65	33.3%	男性	10	3	7		
			女性	55	4	42	8	1
⑤ 児童館(学童クラブ以外の利用)	114	58.5%	男性	18	4	12	1	1
			女性	96	8	66	20	2
⑥ ゆうゆう館	45	23.1%	男性	9		2	4	3
			女性	36		17	17	2
⑦ 集会施設	105	53.8%	男性	20	3	6	8	3
			女性	85	3	50	29	3
⑧ 図書館	180	92.3%	男性	47	4	20	18	5
			女性	133	9	85	34	5
⑨ 科学館	98	50.3%	男性	22	4	7	10	1
			女性	76	3	52	19	2
⑩ 体育施設	144	73.8%	男性	37	1	15	18	3
			女性	107	3	75	28	1
⑪ 区民事務所・分室・駅前事務所	114	58.5%	男性	20	2	9	6	3
			女性	94	2	62	27	3
⑫ 保健センター	105	53.8%	男性	18	1	8	7	2
			女性	87	2	57	25	3
⑬ 産業商工会館	42	21.5%	男性	8		2	5	1
			女性	34	2	15	14	3
⑭ あんさんぶる菘窪	83	42.6%	男性	16	5	5	5	1
			女性	67	6	35	23	3
⑮ 障害者(児)通所施設	21	10.8%	男性	3		3		
			女性	18		14	4	
⑯ 障害者福祉会館	19	9.7%	男性	2		2		
			女性	17		10	7	
⑰ 公共住宅	23	11.8%	男性	4		2	2	
			女性	19		15	4	
⑱ 自転車駐車場	119	61.0%	男性	26	4	15	6	1
			女性	93	3	66	22	2
⑲ 児童遊園・遊び場	103	52.8%	男性	18	4	9	4	1
			女性	85	4	66	15	
⑳ 民営化宿泊施設	66	33.8%	男性	18	3	5	8	2
			女性	48	1	32	13	2
㉑ 区施設の有料駐車場	44	22.6%	男性	9		5	4	
			女性	35	1	23	11	



【区立施設の再編整備について】

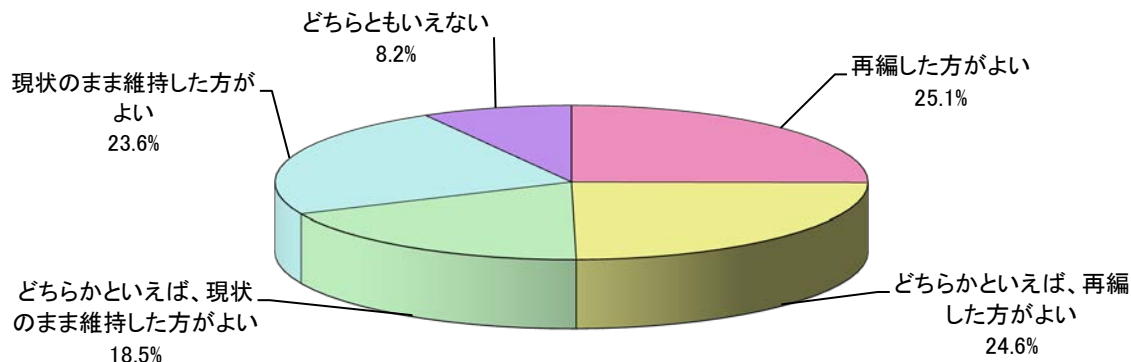
(設問29から設問39の回答にあたっては、「杉並区区立施設再編整備計画(第一期)・第一次実施プラン概要版(素案)」を参照してください。)

設問29 「区立施設再編整備計画(概要版)」P.1「第1章 区立施設を取り巻く状況～今なぜ再編整備が必要なのか?」について伺います。

ここでは区立施設の再編整備が必要な理由について区の考えを述べています。これについて、あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 再編した方がよい	49	25.1%	男性	27	1	11	12	3
			女性	22	1	15	6	
② どちらかといえば、再編した方がよい	48	24.6%	男性	11	1	3	4	3
			女性	37	2	26	9	
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	36	18.5%	男性	4	1	2	1	
			女性	32		20	9	3
④ 現状のまま維持した方がよい	46	23.6%	男性	8	1	5	2	
			女性	38	4	23	9	2
⑤ どちらともいえない	16	8.2%	男性	3	1		2	
			女性	13	2	10	1	

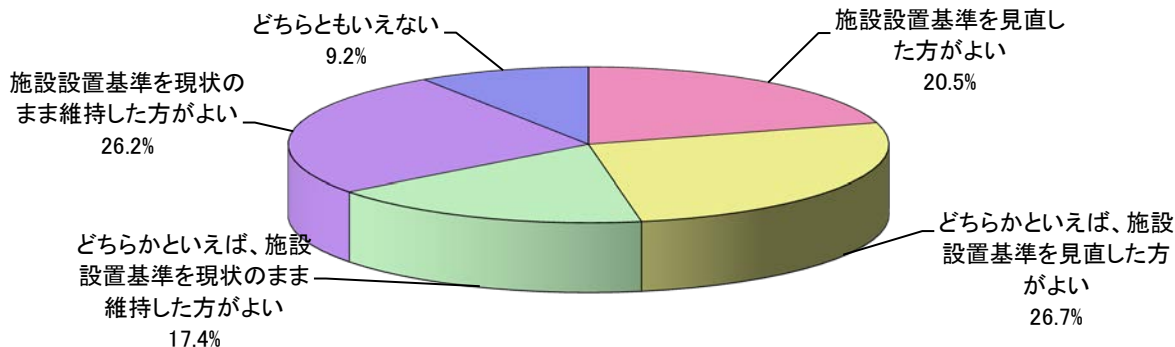


設問30 「第2章 計画の基本的な考え方 2.基本方針(P.2)」及び「第一次実施プラン(P.3～6)」について伺います。

(1)「①施設設置基準の見直し—7地域の継承と46地区の基準の転換」について、あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 施設設置基準を見直した方がよい	40	20.5%	男性	19		9	8	2
			女性	21	2	15	4	
② どちらかといえば、施設設置基準を見直した方がよい	52	26.7%	男性	15	3	3	5	4
			女性	37	1	25	10	1
③ どちらかといえば、施設設置基準を現状のまま維持した方がよい	34	17.4%	男性	7	1	3	3	
			女性	27	1	17	8	1
④ 施設設置基準を現状のまま維持した方がよい	51	26.2%	男性	8		5	3	
			女性	43	5	26	9	3
⑤ どちらともいえない	18	9.2%	男性	4	1	1	2	
			女性	14		11	3	

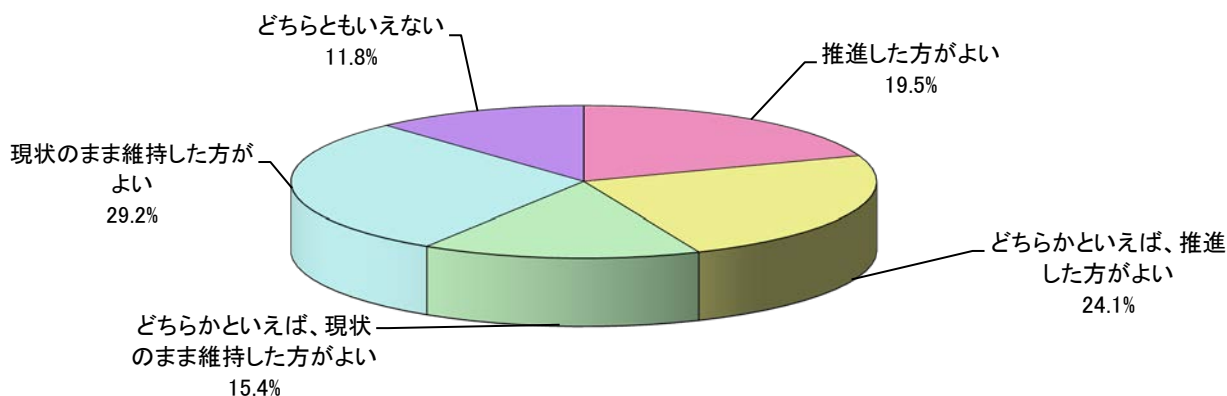


設問31 「第2章 計画の基本的な考え方 2.基本方針(P.2)」及び「第一次実施プラン(P.3～6)」について伺います。

(2)「②複合化・多機能化等による効率化の推進」について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 推進した方がよい	38	19.5%	男性	22		10	9	3
			女性	16	1	11	4	
② どちらかといえば、推進した方がよい	47	24.1%	男性	11	1	3	4	3
			女性	36	1	28	6	1
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	30	15.4%	男性	4	1	1	2	
			女性	26		18	7	1
④ 現状のまま維持した方がよい	57	29.2%	男性	9	1	6	2	
			女性	48	6	26	13	3
⑤ どちらともいえない	23	11.8%	男性	7	2	1	4	
			女性	16	1	11	4	

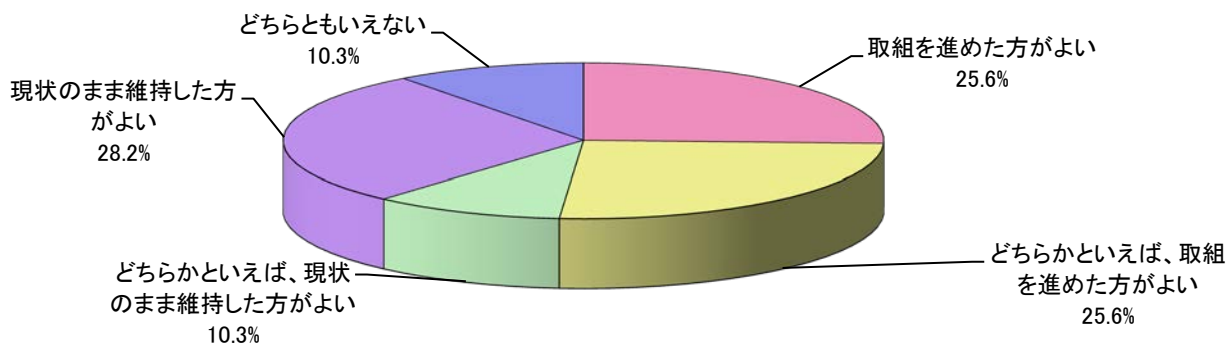


設問32 「第2章 計画の基本的な考え方 2.基本方針(P.2)」及び「第一次実施プラン(P.3～6)」について伺います。

(3)「③学校施設と学校跡地の有効活用」における区の方針及び「第一次実施プラン 3.学校施設(P.4)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 取組を進めた方がよい	50	25.6%	男性	27	1	13	10	3
			女性	23	1	18	4	
② どちらかといえば、取組を進めた方がよい	50	25.6%	男性	13	1	3	6	3
			女性	37	1	27	9	
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	20	10.3%	男性	4	2	1	1	
			女性	16		5	8	3
④ 現状のまま維持した方がよい	55	28.2%	男性	7	1	4	2	
			女性	48	5	32	9	2
⑤ どちらともいえない	20	10.3%	男性	2			2	
			女性	18	2	12	4	

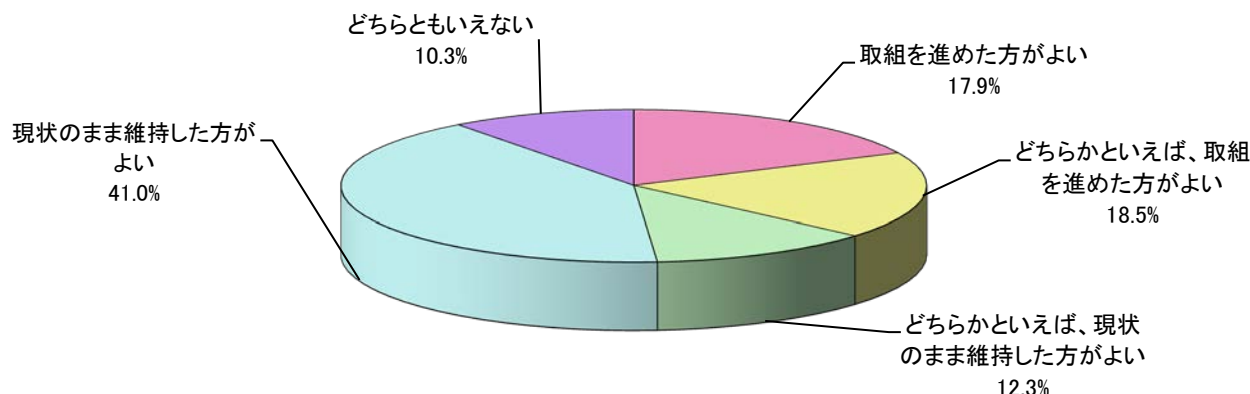


設問33 「第2章 計画の基本的な考え方 2.基本方針(P.2)」及び「第一次実施プラン(P.3～6)」について伺います。

(4)「④児童館の再編と子育て支援事業の新たな展開」における区の方針及び「第一次実施プラン 4.児童館・学童クラブ(P.5)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 取組を進めた方がよい	35	17.9%	男性	21		9	9	3
			女性	14		10	4	
② どちらかといえば、取組を進めた方がよい	36	18.5%	男性	12	1	4	5	2
			女性	24	1	16	7	
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	24	12.3%	男性	3			2	1
			女性	21		15	5	1
④ 現状のまま維持した方がよい	80	41.0%	男性	13	3	7	3	
			女性	67	7	40	16	4
⑤ どちらともいえない	20	10.3%	男性	4	1	1	2	
			女性	16	1	13	2	

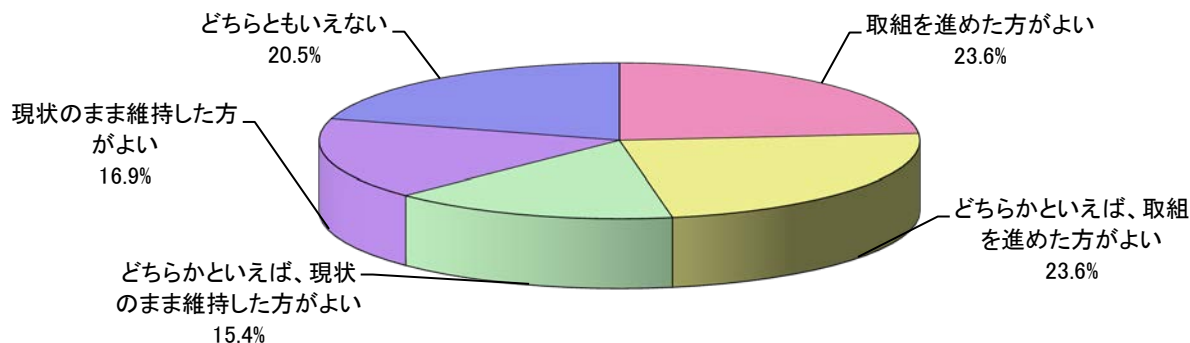


設問34 「第2章 計画の基本的な考え方 2.基本方針(P.2)」及び「第一次実施プラン(P.3～6)」について伺います。

(5)「⑤ゆうゆう館の再編」における区の方針及び「第一次実施プラン 5.ゆうゆう館(P.5)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 取組を進めた方がよい	46	23.6%	男性	23		11	8	4
			女性	23	1	19	3	
② どちらかといえば、取組を進めた方がよい	46	23.6%	男性	10	1	4	4	1
			女性	36	2	25	8	1
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	30	15.4%	男性	5	1		4	
			女性	25	3	16	5	1
④ 現状のまま維持した方がよい	33	16.9%	男性	7	1	3	2	1
			女性	26	2	13	8	3
⑤ どちらともいえない	40	20.5%	男性	8	2	3	3	
			女性	32	1	21	10	

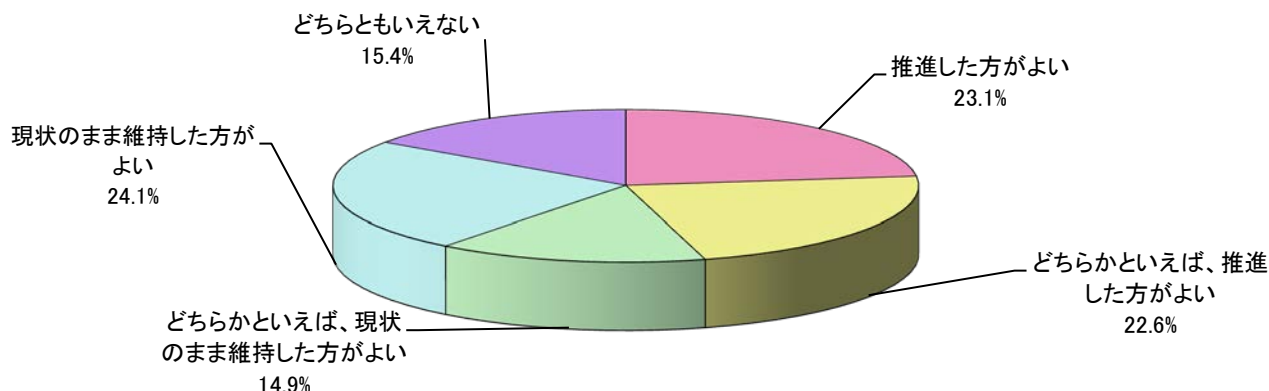


設問35 「第2章 計画の基本的な考え方 2.基本方針(P.2)」及び「第一次実施プラン(P.3～6)」について伺います。

(6)「⑥地域コミュニティ施設の再編」における区の方針及び「第一次実施プラン 6.集会施設(P.5)」で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 推進した方がよい	45	23.1%	男性	24		10	11	3
			女性	21		18	3	
② どちらかといえば、推進した方がよい	44	22.6%	男性	11	1	4	4	2
			女性	33	3	21	8	1
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	29	14.9%	男性	3	2			1
			女性	26	2	16	5	3
④ 現状のまま維持した方がよい	47	24.1%	男性	9	1	5	3	
			女性	38	3	20	14	1
⑤ どちらともいえない	30	15.4%	男性	6	1	2	3	
			女性	24	1	19	4	

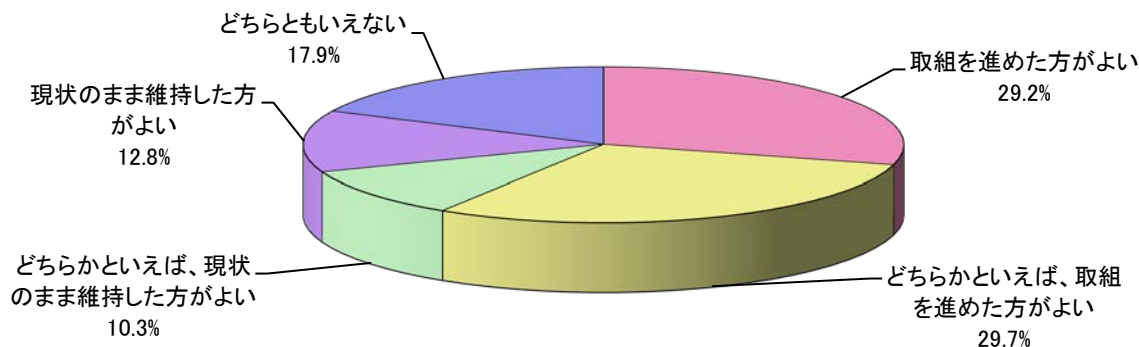


設問36 「第2章 計画の基本的な考え方 2.基本方針(P.2)」及び「第一次実施プラン(P.3～6)」について伺います。

(7)「⑦緊急性の高い施設の優先整備」における区の方針及び「第一次実施プラン 1.保育園・子供園、2.特別養護老人ホーム等(P.4)」等で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 取組を進めた方がよい	57	29.2%	男性	28	1	13	11	3
			女性	29		22	6	1
② どちらかといえば、取組を進めた方がよい	58	29.7%	男性	12	1	4	5	2
			女性	46	3	30	12	1
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	20	10.3%	男性	2	1			1
			女性	18		14	2	2
④ 現状のまま維持した方がよい	25	12.8%	男性	6		4	2	
			女性	19	2	10	6	1
⑤ どちらともいえない	35	17.9%	男性	5	2		3	
			女性	30	4	18	8	

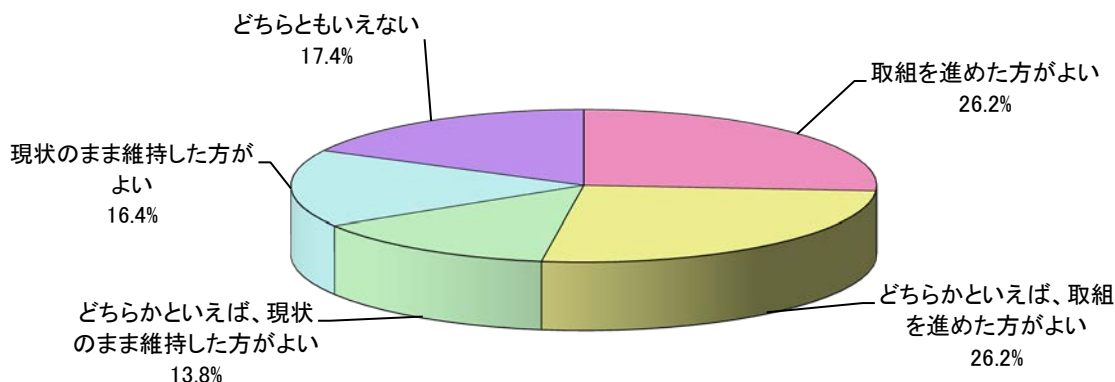


設問37 「第2章 計画の基本的な考え方 2.基本方針(P.2)」及び「第一次実施プラン(P.3～6)」について伺います。

(8)「⑧国や東京都、他自治体等との連携」における区の方針及び「第一次実施プラン 1.保育園・子供園、5.特別養護老人ホーム等」等で掲げた再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 取組を進めた方がよい	51	26.2%	男性	24		13	9	2
			女性	27		20	6	1
② どちらかといえば、取組を進めた方がよい	51	26.2%	男性	12	1	4	4	3
			女性	39	2	26	11	
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	27	13.8%	男性	5	2		3	
			女性	22		18	3	1
④ 現状のまま維持した方がよい	32	16.4%	男性	5		3	2	
			女性	27	5	12	8	2
⑤ どちらともいえない	34	17.4%	男性	7	2	1	3	1
			女性	27	2	18	6	1

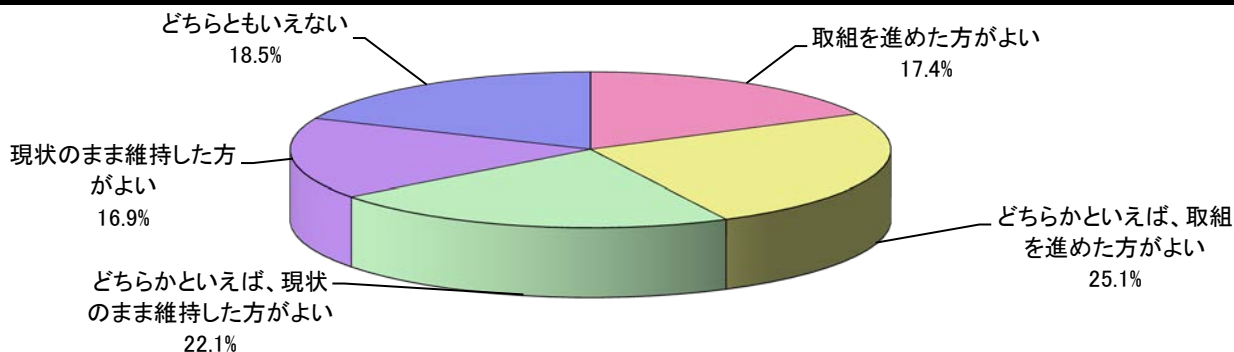


設問38 「第2章 計画の基本的な考え方 2.基本方針(P.2)」及び「第一次実施プラン(P.3～6)」について伺います。

(9)上記(3)～(8)(設問32～37)以外の施設の再編整備の方向性と具体的な取組について、あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 取組を進めた方がよい	34	17.4%	男性	20		9	9	2
			女性	14		11	3	
② どちらかといえば、取組を進めた方がよい	49	25.1%	男性	12		5	4	3
			女性	37	1	28	8	
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	43	22.1%	男性	9	4	3	2	
			女性	34	1	21	9	3
④ 現状のまま維持した方がよい	33	16.9%	男性	6		3	3	
			女性	27	6	12	7	2
⑤ どちらともいえない	36	18.5%	男性	6	1	1	3	1
			女性	30	1	22	7	



設問29 区立施設再編整備計画(概要版)に関して、ご意見がありましたらご記入ください。
(自由意見)

* 設問52への回答として記入された、区立施設再編整備計画(概要版)に関する意見も含めています。

計画全体・基本的な考え方について

- ・人口が増えていく前提でつくられた公共施設を現状に合う形で見直し、無駄を省くことを求めます。
- ・徹底的に精査し、一部の情に流されることなく無駄をそぎとって欲しい。やろうとすれば必ず反対がでますが、ごく一部の理由なき反対者に絶対に流されず、退歩することなくしっかりと取り組んでいただきたい。
- ・ばらまきの発想ではなく、再編、効率化を進めた方がいい
- ・時代の流れで、基本的には賛成です。行政サービスの低下や区政の後退の印象を与えかねないので、再編での効果をあらゆる角度から検討したことを示して欲しいと思います。
- ・基本的に今回の計画に賛同する。同じ杉並区に住む娘の子ども(7ヶ月)について、娘の職場復帰のための保育施設確保の大変さを身近で見ており、喫緊の課題であることを痛感する。高齢者対策についても同様。学校の統合により余剰となる施設の活用では、例えば老後施設と保育施設の融合による、高齢者の乳幼児、児童との接触による生きる喜びの体感、及びハコモノだけは作ったが保育士等人員の確保が難しい等も課題と思えるが、その解決の一助にもなるのでは？と感じている。
- ・時代のニーズにあわせて再編進めるべき。サービスは偏らないように。
- ・非常に現実に即した計画だと思う。
- ・保育園・学童の不足など緊急度が高い課題については、民間の力を借りながらスピーディーに進めてほしい。
- ・稼働率の悪い施設は多目的への転用などの取組を進め、可能な限り民間からの融資を使えるような仕組みづくりをすすめるべきである。
- ・民間企業との合弁によるコストの見直しや、地域の環境を考えた利用目的の変更等も検討して欲しい。
- ・財源の問題もあるので、民間が出来ることは民間にまかせるべき。さらに踏み込むと、民間には出来ないだろうや既得権の考えを捨て全ての事業の参入を開放してもいいのでは？図書館や幼稚園、児童館は事業としてもやっていけそう。問題はそこにぶら下がる既得権益者および「安全」「安心」を建前にした偽善者か？いくらでも予算があれば、大きな行政が担当すればいい。しかし、限られた予算(財源)しかないで、民間事業参画の議論は必須ではないか？
- ・区全体を見て、全ての公共施設がどの地域に住んでいる人にも利用しやすい場所であることも念頭に置いて再編成を進めて欲しいです。住んでいる場所から遠いほど、利用回数が減るため、特に小さい子どもや高齢者が利用する施設は、半径距離を考えて設置してほしいです。高齢者の増加、少子化ではあるが共働きの家庭が増えて、児童館を必要とする子どもが増えている現状を見据えた再編成はとても良いことだと思います。また施設の共有化を図ることで、図書館や児童館、高齢者のための施設、スポーツ施設を上手く組み合わせ、今点在している施設を統合することで施設の利用の効率化を図り、地域の人が利用しやすく活性化されればと思います。ただし、施設過疎地を作らないためにも、すべての地域を公共施設で網羅できない場合は代用施設やサテライト施設などの併用なども考えながら進めて欲しいです。
- ・効率化ばかりを求めすぎ、利用者の使用しやすさの点がないがしろになっていないか検討してほしい。
- ・財政や効率だけではなく、区民に夢を持たせる柔軟な考え方も取り入れて計画を進めていただきたい。
- ・保育園・子ども園を増やしたり、児童館や学童の整備を実施することで、生産人口が増える取組をして財政の収入を増加させるような政策を実施すべき。
- ・全体的に区の中央部、南部の記述が多く、北部(井草地区)などにつき、ほとんど触れられていないのが気になります。広い視点で検討・記述していただきたく思います。
- ・現状の施設の位置に基づいて今の住居の位置を決めているので、急に再編等で場所を変えられると困る(特に学童・児童館)。数を増やすのは賛成だけど、場所を変える・統廃合(によって既存の施設がなくなる)のは困る。
- ・全体として合理化や整備は必要と思いますが、地域に、例えば歩ける範囲にあることが当区の良さだと思います。特に行動範囲の限られる未就学児童やお年寄り向けの施設は数を減らすべきではありません。
- ・再編計画の概要は立派なことが書いてあるので、反対する気持ちはありませんが、実際に統廃合案をみると、納得がいかない部分があります。子どもへの優遇的な対応で、一般の活動が制限されるのは困ります。体育施設や集会施設は、利用率が少ないとのことですが、一般の勤め人が利用したい曜日・時間帯は激戦です。単に施設数が減らされては活動ができません。使い方を再検討いただきたいと思います。特に子どものいない会社員にとっては税金を高く払っているのですから、区民サービスを有効に活用できなくなることには不満を感じます。
- ・果実の具体的な近い道が示されておらず、ただいたずらに資金を増やそうとしているようにしか見えません。

- ・子育て中、児童館や公園、区のスポーツ施設にはとても助けられました。気軽に利用できる現状維持を切に願います。
- ・この計画が区民の声を反映して作られているとはどうしても考えられません。老朽化した施設が多いのは感じているし、施設の建て直しにお金がかかることは理解できますが、人が集まる施設を駅の近くに集中させたり、特定の地域の人だけが恩恵を受けるような整備計画に大きな不安を感じました。その地域の人々が安心して集う場所をなくしてしまうことを再編成という言葉で片付けるのはどうなのでしょう？大勢の人が感じている既存の施設の良さを継続できるとはとても思えない内容です。既存の施設を改修するお金が無いのは杉並区のお金の使い方が間違っていたからで、区民が驚沢してきたからではありません。驚沢な庁舎、中央線沿線の駅周辺の開発にお金を使いすぎている印象を受けます。私も杉並区の端っこに居住しているので、区役所も小学校も子どもの乳児検診を受ける保健センターも遠いです。近くには下井草児童館とゆうゆう館と保育園が一緒になっている施設しかありません。下井草児童館は小学生、幼児、乳児にはなくてはならない安心な遊び場ですが、それだけではなく、地域の老若男女が集い、もちつき、キャンプ、縁日、映画鑑賞会など、さまざまな催しを地域の人がお金をかけずに人力で作りにあげている、地域活性化の中心的な拠点になっており、子どもたちだけのものではなく、地域全体の財産となっているのです。このままでは到底同意できません。
- ・現状の施設利用者に不便となる計画であり、区民に貢献しないと考えられる。
- ・施設を統合すると遠くなるし、民営化すると専門職員が減って知識もサービスも悪くなる。
- ・保育施設の拡充は現在重要な課題ではあるが、少子化の方向に進んでいるのもたしかである。一時的に不足している保育施設と、今後ますますニーズ増が確定している高齢者施設を同等に考えてよいものかどうか、気になる。子どもは年々成長してゆくものなので、年代別に分けて考えるこれまでの形から離れて、統合展開することもできると思う。また、集会所や、ゆうゆう館のような高齢者向けの利用施設もよりふえてもよいのではと考える。「多世代型地域コミュニティ施設」という聞こえはいいが、その具体的内容はあまりに未知数だ。内容のビジョンの提示がないままに「多世代型」とハコのビジョンだけを先に語ることに抵抗感がある。
- ・施設には必ず利用する人がいて、活動したり居場所となったりしているはず。耐震基準に満たず建て替える必要がどうしてもある、など緊急性の高い施設があることも理解できますが、入れ物同士の交換のように簡単にはいかないはずではないでしょうか？
- ・確かに子どもは子どもだけまとめて、老人は老人だけをまとめて一つの施設の中で地域社会を営むのは不自然だと思いますが、施設の複合化、多機能化という一見よさそうなことばの裏には、経費からくる合理化としか映りません。本当に使用者の側に立った案でしょうか。一つの施設の中で多世代が違う目的で使用するだけで、世代交流は容易に行えません。時間をかけた仕掛けや人的努力が今以上に必要になるとと思いますが、合理化を推進している区が、今後、施設の複合化のあとに、このような努力をするとは考えにくいです。
- ・施設は現状維持が好ましい。再編成することにより行けなくなる人も出てくるはず。
- ・この施設再編によるデメリットの追求とそれに対する対応策があまりにも曖昧で拙速。
- ・財政面の問題が大きいというならば、ただ2700億の費用がかかるというのではなく、具体的に、毎年予算のどの程度を占め、いくら赤字が見込まれるのかを示してください。そうでなければ判断のしようがありません。児童館以外にも、「利用率が60%しかない」という文言がありました。この利用率が低いとは思いませんし、仮にもっと低かったとしても、そもそも公共施設の価値が利用率だけで測れるわけがありません。利用者が少ない地域の施設は廃止して、遠方まで足をのばせというのは、公共サービスというものに対する認識が間違っているとしか思えません。利用者が少なければ、そこでサービスを提供する必要がないということにはならないでしょう。むしろそういうところを切り捨てないのが、公共というものではないのでしょうか。素案をみて、杉並区が小さな政府を目指しているという印象を受けましたが、公共福祉は民間任せにせず、区が責任をもって提供するべきです。スリム化して、既存施設を保育園や老人ホームに転用したいという発想はわかりますが、それらのための用地を確保することありきになっていて、本当に各施設の理想の在り方が追求されているかはなほ疑問です。
- ・施設が老朽化していることに関して、現状維持が難しくなるかの解決方法を考えていく時期にきていることは理解できる。しかし、提案の内容は性急であり、乱暴に感じる。今の利用状況をみていると、この概要で説明されていることは、ニーズにあっていない。ソフト面を考えていないと思います。
- ・老朽化した施設の安全確保は重要だが、市民生活のレベル支持のために現状維持を原則として整備をすすめるのが良いと考えます
- ・いきなり既存の施設を無くすのはいかなものか。
- ・児童館や集会施設は現状を変えないで欲しい。ゆうゆう館は現状でも「認知症の気があったらダメ」等、本来はつきりしないことなのに閉め出され感がある。他の年齢まで一緒になったら本当に高齢者が使えるのか疑問。基本的に保育園・特養など増設が必要だが、他が大きく影響を受けなければならないというやり方を避けて欲しい。
- ・税金を効率的に使ってほしいが、保育園、小学校などの跡地利用に関してはすぐにマンションなど住宅地をたてないでほしい。

計画の策定プロセスについて

- ・ 児童館使ってる子どもの声を聞かずに計画進める気ですか？ 居場所座談会とやらだけで聞いた気になってるようですが全然足りないから、参加して思った。区のお偉いさんや政策課の為の施設じゃないですよ。
- ・ 私は 中・高校生の新たな居場所づくり懇談会 に参加しました。自分の住んでいる区が、愛する区がより良くなってほしいという思いを持っていました。その気持ちをこんな形でおかえしされるとはとても残念です。こんな計画を作ってもらうために自分の考えを言いにいったわけではないのに。あんな薄っぺらい会議で中高生の意見を全部聞いた気になっているのですか。正直、杉並区にはがっかりしています。区民や施設をどうしたいんですか。
- ・ 文書だけでは多くの人には難しく、情報提供の手法に課題があると思います。区民に理解してもらうためには、文書やネット頼りの周知でなく、隅々まで行きわたるようきめ細かい説明会を求めます。休日や夜間では、託児があっても託児対象外の子どものお親には参加しづらく、スムーズな合意形成に向けるには反発を買いやすいのではないのでしょうか。
- ・ 何をもって、施設運営の限界となっているのかを区民全員に説明し直すべき。現説明のみでは全く理解不能。会議室で勝手に話を進めず、各学校や幼稚園や保育園に対しての説明会を設けるべき。
- ・ 急激な改革の為、理解がしがたい。
- ・ 今回ご提示の素案をたたき台にして、広く区民全体にしていねいに知らせて一年くらいかけて区民の意見を集めてから、再編の必要性・方向性を決めて下さい。
- ・ 再編に関しては必要かと思いますが再編に関する情報公開があまりに遅く区民のコンセンサスが取れていないと思います「検討」事項が多く、先が不安です。
- ・ 施設再編計画素案を凍結し、区民のニーズをきちんと踏まえて、区民を計画作成に参画させるべきです。偏りすぎた計画だと思います。
- ・ 老朽化した建物の建て替えなどについて、もう少し必要性など丁寧に説明いただいて、納得した上で建て替える、というのが当然だと思っていましたが、もっと区民の声が活かされないものでしょうか？
- ・ 施設再編計画素案の凍結を希望します。再編が必要なことも理解できますが、区民のニーズをきちんと踏まえて、区民を計画作成に参画させてください。
- ・ 現場の声を聞き、もう少し時間をかけて検討してみてもいいんじゃないのでしょうか。
- ・ 私の立場からは、普段利用していない高齢者施設などについてのアンケートに答えることはできません。それぞれの施設について、利用者、また以前利用していた人、これから利用するであろう方の意見をくみ上げ、反映していただけないでしょうか？この計画そのものをいったんストップしていただき、区民の声を聞いてください。そして、区民をこの計画に参加させてください。
- ・ 区立施設再編整備計画の凍結を願います。区民の声、利用者の声をきちんと聞いてもらいたい。そして真の区民のニーズをふまえて計画に区民も一緒に参画させて欲しいです。
- ・ どの施設についても、現場に足を運んで今利用している方々の意見を生で聴く機会を設けてほしいと思います。区民意見を聞く方法が限られていて、意見を持った人はたくさんいるのにそれを伝えるすべを知らなかったり時間がなかったりでなかなか区に届けられない状況です。施設に常駐する管理者にアンケートを頼んだり意見を聞いてもらったりするのでもかまわないと思います。これからの杉並の施設の利用について大きな分岐点にあると思うのでもっともっと時間をかけてたくさんの方の利用者にいろんな方法で意見を聞いてほしいと思います。11月末で意見募集を締め切らず、今回取り組もうとしている施設に出向いて利用者に意見を聞く機会を平日と土日それぞれ別に設けることを望みます。
- ・ 地域差による区民のニーズを把握し、その地域にあった再編計画があるとよりわかりやすい素案になるのでは？それには各地域区民を計画作成に参加する必要があると思われます。
- ・ 施設再編計画素案の凍結と区民のスタイルに合わせた利用の仕方、区民の意見を時間をかけて聞いた上で計画を進めてほしいです。
- ・ 建造物の立て直しなど必要なことはあると思いますが、区立施設の再編整備はとても大きな問題なのに、あまりにも区民との意見交換がなすすぎます。説明会では、告知を十分しているとおっしゃってましたが、それは区の側の思い込みに過ぎず、全区民が知っているかどうか疑問です。もっと時間をかけて取り組むべきだと思います。
- ・ 全体の方向性を決めるにしても、もっと区民の声を聞き、検討を重ねる事が必要。とにかく、これらの計画は現在たてられているスケジュールにとらわれることなく、もっと時間をかけて(最低1年間は欲しい)練り直すべきだと思う。
- ・ この区民アンケートがどう反映されるのかがわかりませんが、今後の杉並区の行政の在り方に大きく関わる素案だと思われますので、もっと議論の時間を取られることを切望します。
- ・ アンケートは施策を出す前にとるものではありませんか。あまりに急ごしらえの計画ではないのでしょうか。職員の方々も戸惑っていると思いますよ。もう一度白紙にもどして、みんなで考え直しましょう。皆さんがこういうものを作るときは必ず、「懇談会(会議)」なるものを立ち上げるではありませんか、今回はなぜそれがなかったのでしょうか。

- ・素案を拝読いたしました。現在の施設利用者の意見を反映していないという印象です。案として進める前に一度、この素案を凍結し、各施設の利用者の意見を聴き、反映させていただきたいと思います。各施設がどのような存在だったか、どんな魅力があったのかは、利用者が知っています。その声を計画に反映させてこそ、再編後も利用したいと思える魅力的な施設になるのではないかと思います。利用している私たち区民も、区と一緒に計画作成に参画させていただきたいです。
- ・私は、杉並区で生まれ、今も暮らしています。子どもに関する施設(児童館等)は、子どもの心と体を育てる為に、とても大切な場所だと思います。子どもを育てる親にとっても、支えになる場所です。実際に現場を使用している人の声、職員の方達の声は、反映されているのでしょうか？とても不安です。これから子どもを杉並区で育てていく人に、安心出来る計画を、もっと時間をかけて考えるべきではないのでしょうか。
- ・広く区民に知らせていないまま進めている印象が強い。ホームページや「施設再編の説明会」と題してポスターを貼り出しても、具体的に何のことかわからない。各施設の利用者に向けての告知の仕方を再度検討して周知徹底するべき。それから、今後を検討することを望みます。利用者を無視しての素案は凍結するべき。区民が計画に参画できるように考えてほしい。
- ・声を区政にあげにくい、子どもやお年寄りの声や要望を丁寧に、汲み取る方法をとって、(時間もかけて)計画に反映させるようにしてほしいです。
- ・区民への説明が不十分で納得できない。いったん凍結してほしい。区民が新聞報道で知るとなるとやりかたはひどいと思う。なぜそんなに急ぐのだろうか。こんなに大がかりな再編を考えているのなら、いったん凍結をして説明してほしい。
- ・ぜひ、地域のため子どもたちのために、もっと丁寧に説明をし納得のいく形にするために、施設再編成計画案の凍結をして、住民が計画に参画、意見を反映させてください。よろしくお願ひいたします！！
- ・これだけの膨大な計画なのに、たった5箇所の説明会で、しかも、説明も粗雑、質問にもきちんとこたえていない。全く区民不在。区長と区役所だけで一方的に押し付けてくる計画には賛同できない。時間をかけて地域を説得する努力を放棄している。
- ・今回の素案を9月に議会に出し、11月中旬に改定案を出して1月に案にする過程で地域のニーズや計画について詳細や具体的なビジョンが全く見えません。是非をつける手前です。このまま地域のニーズを全く反省しない計画を進めることはやめてほしいです。手間や時間がかかりますが、地域の特性を反映した素案策定をお願いします。施設再編には反対ではありません。でも、あまりに唐突であまりに具体性に欠け、計画の結果地域が損失するものなど決して見えない計画に賛同はできません。きれいごとばかりで、納得させようとするようにみえます。未来の子どもたちのために、何を我慢していかねばいけないか区民と考えさせてください。
- ・計画の発表に対し、本アンケートにて“区民の意見を聞いた”とするのは、あまりにもお役所的な、推進ありきの手段と感ぜられます。将来の為にできる限り早く決めたいというのはわかりますが、もっと丁寧に、幅広く、区民の意見を確認すべきではないですか。どの地域の人たちが、どの年齢層の人たちが、この計画についてどれだけ理解しているか。区長と担当役人のみで性急に進めることだけは止めてください。もっとわかりやすい説明と、区民の本気の参加が必要な計画だと思います。前回の区長選で田中区長を支持しませんでした。やはりこのような区政運営になっていることに憤りを感じます。区の予算に限りがある、高齢者、待機児童の問題を解決しなければならないことは理解できます。だからといって、結局は子どもが伸び伸び過ごせる場所、機会を無くすことになると思います。ぜひとも、もっと各地域の声聴いてから、計画進行をしてほしいです。
- ・現場の職員も知らずに発表された素案は、一旦凍結し、現場の職員も納得できる形で1年間かけて練り直し、再提案する。再提案の過程、再提案時に関係当事者(児童館については、学童クラブ父母会、父母会OB会等、各施設の利用者団体)の代表の意見集約にとどまらず、検討過程への参画を行う。を実施すること。
- ・アンケートの回答期間が極めて短いうえ、回答すべき案件が多岐に渡っている為、全てについて意見を述べるのが不可能であった。これだけ大きな事柄を決めるに於いては、素案とはいえあまりにも拙速であると思う。重大事項なのだから、より時間をかけ議論をし、よりよい案を出す必要がある。あまりにもアンケートの回答期間が短いので、「区民から意見を聞きましたよ」というポーズのみで区は意見を聞くつもりがないのでは？とつい勘繰ってしまった。

保育園・子ども園

- ・杉並区の保育園は企業に働きかけ、もっと増やすべきだと思います。
- ・区内の色々な認可外園の話は聞くが、どこも経営者の考えがひどい。どんな基準で選考しているのでしょうか？数だけ増やせばいいものではなく、ちゃんと安心して預けられる保育所の整備をしてほしい。

学校施設

- ・杉一小の高層化もびっくりです。学校の上に宴会場を入れるのですか。杉並会館は結婚式や亡くなった人の偲ぶ会や、歓送迎会で利用しています。

児童館・学童クラブ

- ・学童クラブの受け入れ拡大と小学校に隣接を強く希望します。秋冬などは暗く低学年の子どもは行き返りがとても危険です。全ての小学校で隣接にしたいと願います。(特に桃井第三小学校隣接のものかと学童を早急に入れ替えて欲しいです。)
- ・児童館の学童保育については、児童館利用は好ましくないため、進めてほしい。
- ・学校に学童が併設されるのは大変ありがたい。
- ・学童クラブについて、小学校内に移行するのは賛成ですが、働く母親をもつ子どもだけでなく、事前申し込みで皆が参加出来る居場所にしてもらいたい。
- ・小学校内での学童保育の実施は江戸川区を参考にしたモデルでぜひ推進していただきたいです。今の公園の環境は子どもには遊びにくいと感じることが多いです(狭い、ボール遊びができない、日中でも近所の住民にうるさいと怒られる等)。子ども同士が交流できる場の選択肢を増やして頂きたいと思います。
- ・乳幼児の集いの場を小学校内に設置する場合には、低年齢(とくに0~1歳)はその他の年齢の子どもが遊ぶ場とは別スペースを設置してほしいです。理由;乳児の母親(特に初めて育児をする場合)は危険な場所へは行きたくないものです。異年齢の子どもを同じスペースで遊ばせるのは危険と感じてしまいます。
- ・中高生の居場所作りは、早急に進めていただきたいです。
- ・学童クラブを学校内に移し、全児童に対して放課後の居場所を提供する、という方向性には反対しませんが、いくつか要望があります。1)学童クラブは長期休みなどは特に、1日の大半の時間を過ごす場所です。現在の学校内学童(例:浜田山第二学童)のような、子どもたちがホッとできる、くつろげる空間作りなしには学校内への移設には賛成できません。2)現状では、放課後の小学校校庭は地域のサッカークラブ等に占領され、子どもたちが自由に遊べる時間がきわめて限られています。放課後事業実施にあたっては、校庭や体育館を子どもたちが自由に使えるよう施設利用の見直しをお願いいたします。3)現在の児童館はできる限り存続させてほしい。特に、乳幼児親子の居場所は、「自宅から徒歩圏内にあること」が重要です。集約化は杉並区が誇る乳幼児支援サービスの後退であり、子育て世帯のニーズに反していると思います。
- ・学童クラブや児童館の機能を学校施設に包摂すること、一定の合理性はあるかもしれませんが、教育施設が学校"だけ"に集中することの弊害は検討されたのでしょうか。子どもが「多様な」教育機会に触れることの、不可算な価値をいまいちど考慮されたいと希望します。
- ・児童館は存続して下さい。機能の継承は移設では補えない部分があると思います。個人的に学童クラブの学校内への移設はメリットが大きいと思っています(ただ、注意が必要です)。ゆうキッズも移設でもできるかと思っています(小学校内では厳しいと思いますが)。子どもセンターにも、中高校生の新たな居場所が増える事にも期待しています。ですが、児童館はそれとは全く別物です。『乳幼児から18歳までが学校等所属の枠を超え、障がい児も共にいつでも集える、地域のターミナルである児童館』を失うだけは避けて下さい。今までこういった面で杉並区の児童館は素晴らしかったです。長年にわたり親子ともに大変お世話になっています。全ての再編に反対ではありません。ただ、継承しきれない部分が出てくる事をとても不安に思っていますので、幅広い利用者の声を取り入れて再編していただきたいと思っています。
- ・学校近くの児童館は絶対必要です。近くのところがなくなると、遠い所の児童館まで行くのはすごく危険だし近場で安心して屋内で遊べる場所は、親にとってもすごく貴重です。公園で遊んだり児童館で遊んだり、ものすごく充実している子どもたちの生活を奪わないでください児童館は絶対なくさないでください！！
- ・児童館がなくなったら、子どもたちはどこに行くのですか。遊び場所がないときに、だれかと遊びたい時に、私が行ったのは児童館でした。一輪車や大きなボードゲーム、図工教室でプラ板を焼いたりしたことを今でも覚えています。小学校で同じような楽しい時間を過ごすことができるのでしょうか。居場所さえあればいいと思っているんですか。中高生の利用がさらに減少するでしょうし、乳幼児親子の利用も減少するでしょう。自分が通ったわけでもない、近所にあるだけの小学校に行く勇気はなかなかないです。児童館がひとつの建物を持たなくなる、ということは児童館にとっても利用者にとっても、不利になると思います。
- ・児童館の撤去というのは、区の児童のことを考えていないとしか言いようがありません。もうすこし区の若い人たちのことを考えて欲しいです。
- ・中高生が放課後に利用できる施設はとて少なく、現段階でも不便です、これ以上中高生向けの施設が減ってしまうのは困ります。中高生向けの児童館を無くさないでください。児童館で学校以外の友達がたくさん増えました。そのような繋がりがなくなるのは寂しいです。中高生向けの児童館を無くさないでください、お願いします。

- ・ 児童館は非常に利用しているので、再編対象にされるのはかなり痛い。学童以外でも、乳幼児等の就学前の子ども達の大事な遊び場であり、子育てする親達の大事な交流の場である。
- ・ 児童館施設は、現状のまま維持すべき。
- ・ 発達障害児や不登校児が増え居場所づくりが求められている中、学童保育を児童館から学校内に移す案はわずかな居場所を奪われる子どもが出てくる可能性があり反対。そうした配慮のある代替施設が設置されるなら施設老朽化もあるため再編成に賛成。
- ・ 児童館に関しては実際にどこの児童館がいつどうやって廃止され、新たな児童館的な場所がいつからどのように提供されるのか見えて来ないので新しい取組には反対します。単純に数が減って不便になるようにしか思えません。
- ・ 児童館を現状のまま維持してほしいです。うちには幼稚園児と未就園児がいますが、二人とも幼稚園に入るまでは児童館で育ったようなものです。本当に杉並区に引っ越してきてよかったと思っています。児童館がなければ、私は主婦で子育てできたか自信がありません。雨の日なども、児童館の広い体育館で遊べることは本当にうれしいです。定期的に児童館のプログラムで出会うお友達は、顔見知りになり、話をするきっかけになります。現在のお友達も、児童館で遊んできたお友達ばかりです。乳幼児は昼食を食べられるのもうれしいです。食の細い娘も、お友達と一緒に食べてくれました。小学校や保健センターは、現在の児童館ほど毎日長時間利用することができるのでしょうか。「児童館」という名を持つからなのか、児童館では乳幼児も堂々と利用することができます。小学校や保健センターの一室で、限られた時間の利用になると利用者は減るのではないかと思います。いつも堂々と利用できるのも、児童館は大変利用しやすいです。近所であって多少お天気が悪くてもいつでも通える児童館は、乳幼児を持つ親には大変ありがたいです。杉並区の児童館の話をする、他に住む友達には本当に羨ましがられます。私も、子どもがもう一人いたらどうかと考えますが、今の児童館がなくなってしまうと、もう一人産む自信がなくなります。現在の児童館は、杉並区が本当に自信を持ってアピールできる、子育て支援だと思しますので、ぜひとも現状維持をお願いします。
- ・ 児童館を再編するのは地域の年齢を超えた交流の機会が減ると思う。また、児童館は学童と違って、一度家に帰ってから、各々が好きなものを持ち寄って遊べる、という利点があると思う。学校と併設だと、やっぱりどこまでも学校の一部と学生には認識されると思う。そんなところにはゲームや携帯などの学校で禁止されているものは持って来れないし、やはり児童館で「自分達のための自分達による遊び場」が必要なのだと思う。
- ・ 児童館をなくさないでほしいです。児童館は自宅から2分の所にあり、学校は子どもの足で20~30分かかります。5時、6時まで遊ばせて、暗くなった人通りの少ない住宅地を子ども一人で歩かせるのは心配です。学校に、児童幼児の遊び場や学童を入れてしまうと、ただでさえ狭い校庭がさらに狭くなってしまいます。芝生の小学校なので、2か月の養生期間はほとんど、校庭では遊ばず、少ない周辺スペースが唯一の全校生徒の遊び場になります。空き教室がまったくないので、校庭に、新しい施設を建ててしまうと更に子どもたちの遊び場がなくなってしまいます。もし、素案通りの再編をするのであれば、今ある芝生をなくして普通の砂の校庭にして、子どもたちの遊ぶスペースを確保してあげてください。児童館がなくなることにより、遠くの小学校を利用しなければならぬのであれば、交通安全指導員を、要所に置くなど、子どもたちの安全を必ず確保してください。
- ・ 児童館の数が減るのは子育て世代にとって大打撃です。児童館に行くことで孤立化を防いでもらったと痛感しています。もし児童館がなかったら子どもと自宅にこもってしまって追い詰められてしまって、もしかしたら虐待をしていたかも知れないと思うと、児童館の事業に救われたと思っています。子育て支援事業はこのままにして欲しいです。
- ・ 児童館が身近にたくさんあるのが杉並区のウリだと思っていたので、かなり驚いています。他区民に羨ましがられるし、住民としても自慢できることだと思っていました。上の子が0~2歳の頃は初めての育児でなかなか外に出られなかったのですが児童館には気軽に行けたので近所に知り合いも出来ました。下の子が産まれてからは特に雨の日などはよく児童館にお世話になっています。赤ちゃん連れで遠くに出かけるのは難しく、集合住宅に住んでいる為、家にいると上の子には静かにしなさい、と叱ってばかりで親子ともにストレスが溜まるのですが、児童館位の距離なら雨で2人連れでも歩いて行けるので、だいぶ助けてもらっています。また、乳幼児と暮らしていると小中学生とは関わる機会がありませんが、児童館に行くと話しかけてくれたり、様子を垣間見ることができ、自分の子どもでない異年齢の子どもと触れ合えるのも面白いことです。応援券の導入で事業者は増え、子連れで行きやすい場所も増えましたが、児童館のようにいつもそこにある訳ではありません。幼稚園に入って以前よりは利用する日が減ってしまいましたが、小学生になり、当時同じ児童館で遊んでいた親子とまた再会でできて新生活が心強いのも、近くに児童館があったおかげだと実感しています。0歳で児童館へ行ってお出かけに慣れ、次は応援券を使える講座に出よう、と少し遠くに足を伸ばして、と本当に産後ありがたく利用させてもらい引きこもらずに済んだので、是非これから第一子出産の方にも児童館は減らさずに存続して欲しいと願っています。
- ・ 学童保育は重要な子育ての一環です。家庭的雰囲気、学校の校舎とはつながらない児童館の設置・拡大こそ、重要です。学童保育の重要性からみて、職員の身分保障はしっかりしてください。
- ・ 保育園や学童クラブを利用している親としても、区別なく遊べる児童館の役割は大きいと思います。

- ・ 現在週3回のペースで児童館を利用しております。児童館やゆうキッズのプログラムがなくなると大変困ります。ぜひ現状維持をお願いしたいと思います。
- ・ 児童館について。小学生の息子は、子どもの利用状況を子どもに聞いてほしいと言っています。約束せず一人で遊びに行っても、多学年とのボール遊びができる貴重な場所です。学童生と一緒に遊べるので大勢で遊べます。先生がいるのでトラブル時も大事になりません。安心して遊びに行かせられます。高学年になると、塾で忙しく遊ぶ友達確保も大変です。ただ場所があればいいわけではありません。その辺は考えられて、学校を放課後の過ごす場所とするのでしょうか。雨でも遊べる広い場所はありますか。体育館はすでに部活等で使用しています。児童館の先生の立場のような方は、学童以外もみてくれますか。またゲームもしますが、児童館だと体育館で遊べるので、長時間になりません。放課後の遊び場が学校で持ち込み禁止だと、結果行かなくなり、友達宅でゲームばかり、仕事をしていない決まった家に負担が増す、そんなことにならないかと杞憂します。3男は0歳です。ゆうキッズを利用しています。保健センターに移行した際、現状のように、ゆうキッズ後やそれ以外の日も乳幼児連れで過ごせる場所がありますか。新たに保育所をつくるのなら、児童館があったところに現状通り、1室そういう部屋を作ってくると場所も遠くならず、通いやすいです。保育所が増えると助かります。子どもに負担が少ないパートでも利用できると思います。でもそのために小学生にしわ寄せが来ないと思います。ただでさえ、居場所を確保するのが大変そうでかわいそうです。
- ・ 一部児童館の廃止には反対します。子どもたちは、学校以外の居場所を求めています。身近な地域にある子どもの居場所をなくさないでほしい。また、学校によっては、敷地内に学童クラブを配置するのが難しい状況ですが、どのように対処するのでしょうか？また、駅近くに中高生が集える場所(仮)子どもセンターをという構想は良いと思いましたが、音楽室などの個室があるととなると管理が大変そうですね。
- ・ 普段児童館には大変お世話になっています。小さい子を持つ親として、またこれから育てて行く子どもたちのためにも、今の児童館は大切な場所であり、このまま残していただきたい場所だと思っています。
- ・ 児童館ですが、学校の施設の有効利用を兼ねて学校内に移設する意味もわかりますが、反対です。学校はあくまで義務教育の場として子どもたちに提供されるべきで、それと学童保育を一緒にしてしまうと教育現場としての学校との境界線があいまいになって、教師と児童館・学校と児童館の間での子どもに対する責任の線引きがむずかしくなると思います。また、今まで以上に教員の負担も増えることが危惧され、児童館の役割と設置については現状通りとすることが望ましいと思われま。
- ・ 41箇所の児童館を閉鎖して、役割を分割するのは子どもの教育育成という大切な分野において一貫した対応に欠けます。小さな子どもを持つ母親にとって、児童館はプロのスタッフに励まされ、子育ての不安を取り除き、地域に繋がり、年上の子どもたちを知ることで子育てを学べ、また一生のママ友と出会う貴重なコミュニティです。これを廃止することは子どもの健全育成に多大な悪影響を及ぼします。また、学童保育を学校内に押し込めることは、大人にとって合理的な面があるやもしれませんが、現場の環境、教員の仕事に負担がかかるだけでなく、学校活動の延長に感じられ、子どもたちの中には切り替わりのないことで精神的に苦痛を受ける児童が出ます。安心できる遊び場や居場所を持たない子どもたちの心の問題を利益優先の合理主義に無理矢理当てはめないでください。子どもたちの健全育成は杉並の、日本の未来であり希望です。子どもたちに関することに税金を投入することはかえって未来を良くしてくれます。
- ・ 小学校の空き教室に学童クラブを設置と記載されていますが、児童が年々増加していて空き教室がない小学校もあります。その点についての計画が見えません。保育室が必要なのは理解できますが、その児童達が学齢期を迎え区立小学校に通学した場合、今度は小学校の教室・学童クラブが不足するのでは？長期を見越した計画とは思えません。
- ・ 学童クラブを小学校内におくことですが、私立に通う児童や学校内でイジメを受けている児童の居場所があるのか心配です。別の場所に学童がある事も必要なのではないのでしょうか？
- ・ 児童館の廃止も、子育てしやすい地域を進めているとは思えない暴挙だと思われま。
- ・ 児童館は、区立小学校の空き教室や使用していない時間の図工室や音楽室、体育館などを有効利用するなど伺ったが、施設管理の責任の所在が曖昧になるし、学校の授業(授業準備も含む)運営などを考えると、そのような事は不可能である。子ども達は学年によって授業の終了時間も違う。まして、未就学児が母親と自由に入出し、遊ぶ事は難しい。現児童館の建物が老朽化しているということであれば、建て替えの間だけ学童クラブを一時的に近隣の小学校へ移設し、新築する建物を充実させれば良いと思う。今まで通りの数の児童館運営が難しいとしても、全ての児童館を無くすという方向性はどうかと思う。学校をはなれたところに児童館があることで学校の人間関係とはまた違う交友関係が結べるし、気分転換が出来ることも大きなメリット。また、私立小学校などに通っている子ども達にとっては、地元で交友関係を結ぶ為の大切な場所でもある。児童館では、専門の指導員に見守られながら、子ども達が自由な発想で遊びを展開する事が出来る。また、長年地域に密着し、地域子育てネットワークの中心となっているので、それがなくなると学校などにも更なる負担がかかるのではないか。

- ・小学生の放課後の居場所づくりに小学校をと考えるのは、場所だけ確保すればいいという大人の考えでしかないと思います。学校での緊張感を開放する放課後にまた、規則づくりの学校の中で、子どもはリラックスできるのでしょうか？子どもが、自由な発想が可能でリラックスできる場所づくりをかんがえるべきだと思います。その為にこのような性急な見直しでは、いい物は作れないと思います。もっと時間をかけて一番子どもの近くにいる人たちの声を取り入れて、子どもたちの成長を地域で見守っていただけるような杉並区になってほしいと思います。
- ・学童保育がそのまま学校で行くと大人は楽ですが、子どもは同じ環境なので、今までの教室が学童保育の教室になるだけなので、リフレッシュがしにくいのでは？また、いじめなどそのまま引きずるのでは？一度学校から出てリセットすることも大事なのでは？
- ・小学校に空き教室が散見するから、児童館機能を空き教室でまかなうというのは、安易な発想であり、利用者とりわけ乳幼児及びその保護者の要望を反映しているといい難い。学校機能と従来の児童館の機能とは同一視できない。たとえば乳幼児の保護者にとっては、かつてのようにコミュニティがほとんど無い中、子連れで同様な保護者との出会い(情報交換や親しく付き合うなどのため)を求める場であり、気軽に出入りできる現在のよう施設は必要なのである。百歩譲って、区の再編に従うとしても、同一敷地、建物にありながらも、小学校とは全く独立した施設で、児童館としての十分な機能を備え、管理形態も当然に出入り口も独立したものである事を保障すべきである。かつ、現在及び将来の利用者とその保護者の意見が反映されたものであることが必要である。
- ・児童館・学童のプログラムの内容や機能は今でも十分充実しています。再編で乳幼児親子、小学生～18歳までの子どもたちの居場所がないがしろになることは目に見えています。児童館・学童の再編整備には大反対です。
- ・今年出産し、児童館を定期的に利用するようになりました。見知らぬ地での子育てでしたが、児童館のおかげで地域の人とのつながりを作ることができ、公共施設の重要性を実感しているところです。児童館に対する説明について、既存施設ではサービスの充実に限界があると書かれていますが、現在41ある児童館の機能をたった9の子どもセンターに移すことで、仮に一施設内でのサービスの内容を濃くできたとしても、児童館と同等の存在価値を区全体として見たときにも保てるのか大いに疑問です。児童館は徒歩圏内でなければその存在価値は下がってしまいますし、仮に9しかなければ、利用者が集中することが予想されます。利用者が多くないことで、他の利用者とのつながりを作りやすかったり、職員と交流がしやすかったり、まさに自分が住む地区での交流を深めることができます。効率化ももちろん重要でしょう。しかし、公共施設を利用率や効率といったものさしだけで存在価値を測らないでください。児童館が身近にあり、乳幼児向けのプログラムが充実しているこの杉並区で子育てができることは、とても恵まれていると感じています。他区に住む友人からもうらやましがられます。この児童館で蓄積されたノウハウや、育まれた人と人とのつながりは、杉並区の一つの財産だと思うのです。児童館廃止という言葉はなくなりましたが、廃止をしないのか？という問いに対しては、明確は回答はなかったと聞いています。どうか、児童館を廃止しないでください。少子化だからこそ、子育ての環境を大切にすべきではないでしょうか。私は認可保育園の入園も希望していますが、無認可園含め、利用者の側がまったく保育所を選べる状況ではないことを保活で痛感し、認可保育園の増設を切望していますが、だからといって、用地確保のために児童館をつぶしてほしいとは思いません。
- ・児童館が小学校の中に入ると聞きました。区外の親類の子どもが、子どもが遊びに来た時に知らない小学校の中で遊ばせるには、かなり敷居が高く、不安があります。児童館内だと、気軽に行ける安心感があります。また、幼児の専用の部屋があり子ども、横になっても怪我が無いよう、ジュースや畳などいろいろと配慮してくれて夕方まで過ごすことが出来ます。小学校内に入っても、幼児と親が、安心して午後まで過せるよう環境整理や場所の確保をおこなってくれるのでしょうか。遠方まで行き、今までと違ったら、行く気持ちも無くなります。
- ・急にとんでもない方針が出てびっくりしています。児童館問題は子どもの問題だから許しがたいです。子どもの意見を聞いたことありますか。「子どもの権利条約」の手本を作った杉並の子どもたちです。
- ・児童館の廃止反対、区民の声を全く無視した計画の進めかたに怒りを覚える。
- ・児童館は安心できる子どもの遊び場です。小学校低学年の子どもが一人で歩いて行ける範囲に一つは欲しい施設です。昔は子どもの遊び場は自宅周辺に色々ありましたが、今は違います。放課後の子どもの居場所が学校しかないのは無理があります。
- ・児童館は生後すぐの赤ちゃんや新米ママをはじめ高校生まで安心して集える貴重な場所だ。保健センターのなかにママはくつろげ、子どもは走り回るスペースは確保できるのか疑問だ。保健センターが近くにない地区はどうするのか。

- ・ 児童館の廃止には反対です。子どもが生まれる前はあまり児童館は身近ではありませんでしたが、現在は大変お世話になっています。おそらく、児童館を利用されていない方にはピンとこない話だと思いますので、是非、児童館利用者の意見を聞いて頂きたいと思います。まず、施設についてですが、実際、私の住む地域の小学校には空き教室はないと思います。空き教室を作る為に、現在30人前後の1クラスの人数を増やすのでは、本末転倒ですので、おそらく、ただでさえ広くない校庭を削って、プレハブか何かを建て、そこを学童クラブとして使うのかと思います。校庭が狭くなることも小学生にとって歓迎できないことだと思います。また、子どもセンターは9か所しかない為、遠くて、今までのように気軽に利用することはできなくなると思います。また学童クラブが学校内にできることについては、学童クラブへ行く時の危険が回避できる面はあるかと思いますが、学童クラブを利用していない子どもは、通常は自分で帰宅するのですから、学童保育へ行く子どもだけが危険だというわけではないと思っています。また、同じ学校の敷地内にあるよりも、学校から学童保育に「帰宅」するイメージで、別の場所にある方が気持ちも切り替わってよいと思います。学校内に居場所だけ作ればいいというではありません。生活の場なので、充実した生活を送らせてやりたい。児童館の中にあるお蔭で、児童館に遊びに来る友達とも遊べたり、児童館の行事にも参加できたり、現在は大変楽しく通っています。児童館の中に学童保育があるお蔭で、雨の日でも、そこそこの広さを持つ遊戯室でドッチボールなどの球技をしたり、卓球、一輪車などで体を動かして遊べるので助かっています。学校内に移設してしまったら、そのようなスペースは確保できるのでしょうか？ 体育館はクラブ活動などもあり、毎日、児童に開放されることは難しいと思います。また、児童館のイベントについてですが、毎月、工作やお料理などのイベントがあり、子どもが楽しみに参加しています。人気が高く、補欠申込みが出たりするほどです。子どもセンターは9か所しかない為、学童保育に通う子どもが平日に子どもだけで参加することはできなくなると思います。それこそ、学校から学童保育へ行く行程よりも遠い分、危険が多いと思いますし、終了後の帰宅も心配です。終了後、学童保育に戻れば、まだいいですが、習い事の位置づけで、終了後は帰宅ということになってしまったら、家で一人で過ごす時間が増えてしまう為、やはり参加できなくなると思います。子どもセンターは遠くて普段利用できず、身近な存在とはなりえない為、イベントの情報を得ても、地域の友達に参加するかどうかはわからず、子どもも気軽に参加することができないと思います。縁日などは事前に子ども達が縁日で売る作品を手作りする為、地域の子どもの集まれる環境でないと実施できないと思います。子ども達の楽しみを奪わないでやって頂きたいと思います。また、児童館は未就学児にとっても大事な施設です。第一子の時から、ゆうキッズは利用させていただきましたが、仲間作りもでき、プログラムも年々充実してきているので、大変有意義でした。ゆうキッズの時間帯だけでなく、児童館の中には、未就学児専用の部屋もあるので、小学生が下校した後でも、安心して利用できましたし、遊具が充実している為、雨の日の遊び場として大変助かりました。未就学児は移設後の学校内の学童クラブや子どもセンターを利用する計画のようですが、学校内の学童クラブで、未就学児が雨の日でも、安全に遊べるスペースは確保できるのでしょうか？ 子どもセンターは遠くて、雨の中、小さい子を連れていくのは困難だと思います。更に児童館にはお祭りもあり、地域の人たちとの交流の場にもなっています。これも子どもセンターに引き継がれるとのことですが、子どもセンターはわずか9か所しなく、遠い為、参加が難しく、また子どもセンターの近隣地域の人交流できるかもしれませんが、参加者の少ない遠い地域の人達は地域交流できなくなると思います。
- ・ 保育園・学童の待機児童を減らしたり、特養を増やすことは大切なことだと思います。でも、児童館をなくすことには賛成できません。全てを残してほしいとは言いません。その地域にとっての役割や存在をきちんと把握し、地域の人がこの街でどのように暮らし子育てしたいか？安心して子育てできるのか？子どもたちの居場所・遊ぶ場所・学童の十分なスペースが確保できるのか？小学生の放課後の居場所が本当に学校で良いのか？しっかり各地域に説明に来て話し合っ取組をしてほしいと思います。それが、地域力をあげる、暮らしやすい街づくりができると思います。私の暮らす荻窪は公園も少なく子どもの居場所遊ぶ所がありません。そのうえ児童館がなくなったらどこで遊べばいいのでしょうか？荻窪北児童館には、たくさんの乳幼児親子が遊びにも来ていますし、近隣の保育園児も公園代わりに利用したりしています。雨が降った日でも遊びに来れるからとみんな喜んでいます。
- ・ 児童館について「廃止ではない」という説明をしているが、よくみると、やはりなくすということなので、区民を欺くような説明はすべきでないと思う。児童館は地域の核になっている施設で、なくしてはいけない。
- ・ 少子高齢化が進み、予算が減っていくのはわかるが、利用者の多いものについては、現状を維持すればいい。児童館は絶対に必要。歩いて行ける範囲に。区が作ろうとしている大きな児童館こそ要らないのでは？予算の無駄では？何のために必要なのですか？大きな児童館作って喜ぶのはその近所に住んでいる人だけではないですか？乳幼児連れて、わざわざ遠い施設に足を運ぶ、運ばせるなんて、キチガイとしか思えない。児童館で作った友達が、保育園、小学校と繋がっていく。PTA活動などもしやすくなる。小さなコミュニティを大事にしたい。
- ・ 児童館廃止なんてあり得ません
- ・ 特に、子ども達の環境が心配。未就園児と小学生とを同じスペースでは遊ばせられないが、児童館は小さい子の部屋を確保してくれている。両方を持つお母さんは、今のままの方が子どもを遊ばせ安いと聞く。

- ・学校内に学童クラブ及び児童館を設置することに反対です。児童の安全性などを理由にしていますが、実際に今まで、学校から児童館(学童クラブ)への移動途中で事故や事件があったのでしょうか。適当な理由をつけて、狭い学校内に子どもを押し込めないでください。朝から夜まで同じ場所に閉じ込められる子どもの気持ちを想像してみてください。子どもは1か所では育ちません。複数の場所で様々なタイプの人間と接することで成長するものです。学童クラブを利用しない児童も、児童館の機能を学校内に移すとなれば、日中も放課後も学内に居なければなりません。あまり学校が好きではない子どもの場合、児童館の利用は確実に減ります。でも児童館は本来あまり学校が好きではない子どもでも気負わずに入れる場所のはずです。彼らの居場所がなくなります。現存の児童館が担っている役割を甘く見ないでください。子どもは我々大人が育てた通りに育ちます。合理的で想像力の無い大人に育てられれば、その通りの子どもが育ちます。利用者が少ないとか、建て替えにお金がかかるとか理由をつけて、子どもの居場所を取り上げないでください。子どもにこそお金をかけてください。子どもの様々なニーズに応えてください。私はゆうゆう館が無くなるとうと、施設利用費が高かると、何も文句はありません。ただ、子どもに関する施設だけは、利用者が最も恩恵を受ける形で存続させ続ける価値があると思います。

ゆうゆう館

- ・ゆうゆう館の再編については、コミュニティバスの通る場所を優先して考えたほうがよいと思います。
- ・ゆうゆう館は不便なところにあり、集会施設として不適當です。
- ・ゆうゆう館と保育施設が同居する認可園に子どもを通わせていますが、高齢者と園児の交流はとても素晴らしく、意義あるものと感じています。できることであれば継続して頂きたいと思っています。

集会施設

- ・区民センターなどの利用変更は必要ない。現状のままでよい。
- ・公共施設も、稼働率だけを見て統合されてしまうのですが、阿佐谷地域区民センターなどは、時間帯によっては比較的空いています。週末などは常に取りにくい状態なうえ、行政使用などで最初から抽選にも申し込めない時もよくあります。こうした実態、使用者側の感覚を把握されてるのでしょうか。行政で何かするときには区役所内の立派な会議室を使用するか、今後統合され施設数が少なくなった場合は、区役所の会議室を夜間だけでも積極的に開放してほしいです。
- ・地域区民センターは、地域の繋がり、異世代の繋がり、場として地域の中心となるような活動をもっとして欲しいと思います。それぞれ運営協議会というものがあるようですが、そのような組織の見直しや、予算の見直しも必要だと思えます。
- ・集会所は仲間との文化活動に絶対必要。
- ・区民会館を毎週末、その他平日も使用しておりますが、感じることは集会室や会議室のような場所は空室が多いと思います。一方で音楽室や体育館など、そこでしかできない(大きな音ができる、振動ができる)活動を実施している部屋はいつも満室です。杉並区は文化を奨励している区だと認識しておりますので、そのような文化活動がもっと盛んに行うことができるように活動の場を作っていただきたいです。会議室などは、その辺の喫茶店と変わらないと思います。文化施設(音楽室やスタジオなど)は民営の会場を借りると非常に割高です。その辺りを再考していただけると助かります。

文化・教育施設等

- ・この計画について初めて耳にしたときとてもショックを受けました。科学館がなくなってしまったら、私が小中学生だった頃に行った実験を未来の小中学生ができなくなるということですよ。各学校の理科室の設備が良くなっているからといって、同じ実験が学校でできるわけではないと思います。科学館にしかない設備はたくさんあります。プラネタリウムもたくさんの昆虫の標本も化石も大きな模型や剥製も学校にはありませんでした。科学館に行って実験したり様々な展示を見るのが私はとても好きでした。なぜなら、それらは普通の学校の授業で触れることのできない世界だったから。こう思っているのは私だけではないはずです。
- ・科学館を良く利用しています。杉並区立科学館は、文化的にも科学を目指す子どもたちにとっても大切な施設です。気軽に行ける科学の施設はなかなかありません。現施設の廃止は杉並区民にとって大きな損失だと思います。学校の移動教室以外の科学館で行われる放課後の科学教室、創意科学工夫展、区民講座、プラネタリウムなど、今までの利用同様にできる新しい施設の検討を是非お願いいたします。
- ・科学館については、解消してしまうのではなく、今までの役割自体を見直し、もっと杉並の自然環境のデータを蓄積し、それらを活かして生物多様性などを保全できるよう、また環境教育にも活かせるよう学芸員を配置し、自然史博物館的な役割を担えるように再構築して欲しい。杉並には失われつつある自然環境を次世代に引き継ごうと活動している人達が多いが、それらの活動をサポートし、つなぐとともに取りまとめ、その成果を教育に活かす機関が必要である。
- ・科学館は杉並の理科教育の拠点です。現在の建物は残らなくても、出張授業の理科教室だけでなく、創意工夫展や色々な講座を継続していく組織を残してほしいと思います。我が家の理科少年は、科学館でメダカをいただいたり自由研究の相談をしたり、望遠鏡をのぞいたり、さまざまな恩恵を受けてきました。学校理科室へのエアコン設置は科学館の代わりにはなりません。

- ・ 科学館は、文化と教養の高さを誇る杉並区のシンボルです。特にプラネタリウムは杉並区の宝です。耐震化工事も済ませた当施設を、プラネタリウムを残して、「科学教育生涯学習センター」として活用することを要望します。広報に載っていなかった「科学館の廃止」が計画の最後に“さり”と上程されていることに怒りを感じます。他の全ての内容については、アンケートで“再編やむなし”の回答をしましたが、科学館(特にプラネタリウム)に関しては断固として廃止に反対します。
- ・ 区立の科学館は子どもにも大人にも有意義で、杉並区民として誇りに思っていた。各種講座は古い設備低予算の中、工夫に富んでいて刺激的だった。夏休みの自由研究は感動の連続という素晴らしい場で、毎年楽しみにしていた。なくすなんて考えられない。
- ・ 科学館の廃止の是非を論ずる前に、科学館のあり方を見直すべきだと思う。単に、理科教育のサポート施設としておくだけではもったいないと思う。杉並区では1985年より自然環境調査が行われており多くのデータが蓄積されているが(行政が行っている自然環境調査としては日本で最長期間を誇る)、それが杉並区の環境保全に活かされているとは言い難い現状である。科学館には専門の学芸員を雇い、区自然環境のデータ・標本の集積、区内の自然環境保全の実践や情報発信、区内各地で自然保全活動を行っているボランティアのネットワークの取りまとめなどを行う施設として活用して欲しい。特に区内の環境保全は各ボランティア団体や篤志家が孤軍奮闘に依存している傾向が強いため、学術的・技術的或いは人的な支援が行政には強く求められており、現在この区には科学館があるのだからその一端を担って欲しい。
- ・ 高円寺地区の図書館設置は大いに歓迎します。
- ・ 図書館の蔵書数の削減には反対。既に絶版になってしまった貴重な文献(植物の分類に関わるものだが、その分野において未だに第一級のもの)がリサイクル本に回っているなど、貴重な文献の廃棄・流出が既に起こっている。こういった事態には歯止めをかけるべきではあるし、ましてや利用が少ないからという理由や効率化の名の下に蔵書の削減を行うべきではない。蔵書の充実していない図書館など何の魅力もなく、蔵書の削減は区立図書館の価値を確実に損ねると思う。
- ・ 井草地区には大規模マンションが建ち、住民が著しく増加したことを考慮し、例えば図書館を新設(あるいは柿木を移設)するなどの対応を検討いただきたく思います。

体育施設

- ・ 区の科学館、スポーツセンターは主に中央線付近に多くなっています。高井戸地域には子育てで便利な施設が少ないです。居場所を増やしてください。乳幼児連れだったら、民間でもお金が少しかかっても安全でしたら行きやすいです。ただし近くで。
- ・ 児童館でなくてもいいのですが、サッカー、バットとボールが使える子どものための場所がほしいです。たいていの公園はボール禁止、校庭も使えないので。プールも高学年以上が子どもだけで行ける場所として存続を希望したいです。
- ・ 高井戸駅周辺には空き地やどこかの会社所有のグラウンドなどが利用されていません。児童館周辺、高井戸小周辺ではサッカーや野球ができません。ボール遊びのできる広い公園を切にのぞみます。区民センターの体育館やセンター前の広場も子どもが放課後ボールで遊べたらいいのにとっています。
- ・ 和田堀公園プールは存続を強く希望します。
- ・ 先日妙正寺体育館の利用者会議へ参加しました。体育館を利用者したくてもなかなか場所が取れないと声をあげるスポーツ団体がたくさんいました。地域センターや集会施設など利用者が6割くらいしかなくて経営が難しいところは縮小もしくは廃止もやむを得ませんが、体育館を使いたい団体はたくさんいます。もちろん有料でもいいと思いますが、そういう場所こそ増やすべきです。

庁舎等

- ・ 災害を予想し、産業商工会館などの移転は賛成です。
- ・ あんさんぶる荻窪の移転について、どうして駅から遠い荻窪税務署と交換することが適切と考えるのがよくわかりません。荻窪地域以外の住民の利用が減ることは区民の利益に資するとは思えないのですが...
- ・ 先日報道されたあんさんぶる荻窪の国との財産交換に関しても駅前の便のいい場所を失うというデメリットが大きい。
- ・ あんさんぶる荻窪と 税務署の土地交換など、まったく寝耳に水でした。駅に近いあんさんぶるになんで税務署がはいるのですか!! いまどき確定申告だって、パソコンできてしまいますよ。区民意見を聞かずにこのようなことをすることに不信が募ります。
- ・ あんさんぶる荻窪につきましては、特に区民の意見を活かして欲しいということで、建築の際に思いをまとめたり、表示方法などに意見を申し入れたり、町会長さんとの話し合いも行うなど「複合施設をつくる会」のメンバーとして参加させていただきました。たくさんの想いの詰まった建物が、なんの区民の意見も聞いて頂くこともなく、交換となってしまうと新聞で発表されたことがショックです。区民を大切にしていただけない区だったのかしらと、残念でなりません。
- ・ あんさんぶると荻窪税務署の交換もありえません。税務署が駅前にある必然性はないでしょう。一年に何回税務署に行きますか。
- ・ あんさんぶるの唐突な売却もがっかり。区民の声を反映して作った建物をあっさりなくしてしまうなんて...区長はマスコミに取り上げられた人の要求にだけこたえている。

- ・ あんさんぶると税務署の交換は区役所職員も知らされていなかったと聞く。区長個人の資産ならともかく、区民の財産である土地建物を相談もなく交換ときめてしまうのはおかしい。区長は「区民にはかったら議論百出でまとまらない」と言っているらしいが、区民をばかにしている。あんさんぶるは多くの区民が利用しており、廃止してはいけない。税務署は駅からとおく、福祉事務所に相談に行く人たちにとって行きにくくなる。
- ・ 駅前事務所も大変便利です。

障害者(児)施設

- ・ 医療ケアの必要な児童の通所施設が定員オーバーということで困っている。専門の施設の建設をぜひ進めていただきたい。
- ・ 障害児通所施設 保育園の障害児受け入れ枠を増やして欲しい
- ・ 重症心身障害児の通所施設を作って欲しい！現在杉並区にはこうした施設がないため早急の検討をお願いいたします！！
- ・ 医療ケアの必要な重度心身障害児の通所施設をつくってほしいです。
- ・ 重度の障害児施設増設を希望します。

公共住宅

- ・ 区営住居については、活用できるところは十分に活用すべきです。広々とした敷地は不必要。駐車場として一般に貸すアイデアに賛成します。

民営化宿泊施設

- ・ これまで湯河原とか遊び施設は、安く、特定グループの専用物との評判が高く、無用と考えてきました。閉鎖は遅すぎます。ただし、前区長のようにむやみに菅平などの教育施設は売るべきではありません。弓が浜の転用も疑問。

その他の意見

- ・ 高齢化が進む区内において負担軽減で気軽に利用できる施設が身近にあることが元気な老人促進につながらと思う。幼児・児童関連も負担少なく利用できるよう、優先順位を検討して財源確保にかんばっていただきたい。
- ・ 無くす・減らすだけではなく、もっと平日の日中働いている区民に利用してもらえるシステム(会社勤めの方で、仕事帰りにも使えるような時間帯の設定/施設の予約方法を簡易化する)を模索すべきではないでしょうか。
- ・ 高齢者福祉に金がかかりすぎている。
- ・ 区立施設について、区民センターや図書館等に浮浪者が居座っている場所がある。今後計画の中でこの問題に適切に対処されるよう希望する。
- ・ 一定の利用者が目立ちます。やむを得ないことかもしれませんが、気になります。ややもすると、徒党を組もうとする方が目立ちます。
- ・ 長いこと荻窪駅周辺の商店街は、再開発を叫んできましたが、こういうムダこそ 絶対に反対です。区民の幅広い意見をききつつ、子どもを育てる視点と責任をもちつづけてください。

本アンケートについて

- ・ こういうアンケートは良いのですが、提供される資料が、基本的に良いことしか書かれていないので、回答がほとんど「取組を進めた方がよい」となってしまう。心配される問題点なども示して欲しい。
- ・ この設問の仕方では、利用する人の気持ちをくみ取ろうという質問ではなく、取組を進めるか現状維持かの意見の二者択一になってしまいます。アンケートも、せっかくのアンケートなので、もう少し答えやすいものであって欲しかったです。ただ、こうした記入できる欄をいただけたことは、感謝しています。
- ・ 質問内容が大雑把すぎではないか？これが何に対しての資料となりえるのか疑問。
- ・ このアンケートに入るまでが非常にわかりづらい。どのくらい頻繁に利用していれば「利用している」で、どのくらい間が空いていたら「利用したことがある」になるのか？何年かにいちどだがまた必ず利用する場合、どちらにチェックを入れるか迷う。あれもこれも同時に考えなくてはならないだろうが、自分が利用していない施設のことはよくわからないから答えられないのに、アンケートの範囲が広すぎる。

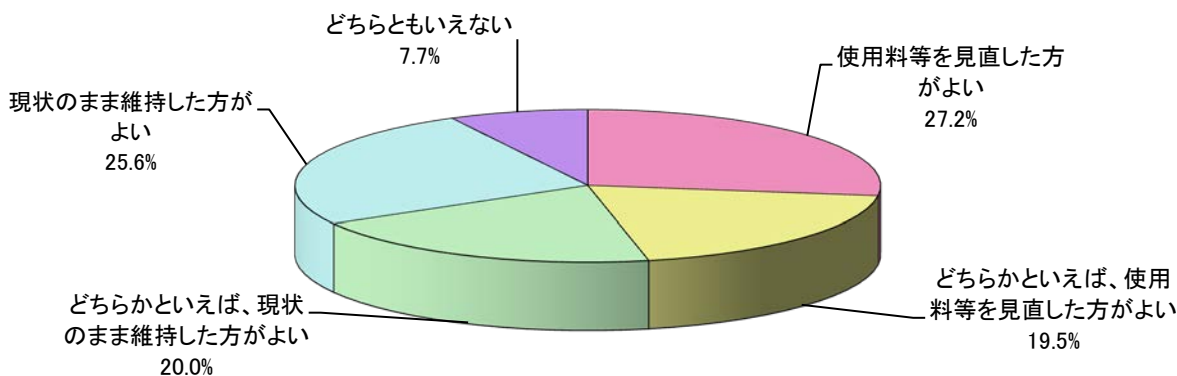
【使用料等の見直しについて】

* 設問40以降の回答にあたっては、資料「使用料等の見直し(素案)の概要」を参照してください。

設問40 区では、集会施設及び体育施設などの施設使用料の改定を平成9年度に行って以降、改定を行ってこなかったことから、受益者負担の適正化と未利用者との公平性を確保していくため、このたび、施設使用料に加え、学童クラブ利用料、有料制自転車駐車場使用料、放置自転車撤去手数料なども含めて見直すこととしました。このことについて、あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 使用料等を見直した方がよい	53	27.2%	男性	24		12	8	4
			女性	29		23	6	
② どちらかといえば、使用料等を見直した方がよい	38	19.5%	男性	10		4	5	1
			女性	28	3	15	9	1
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	39	20.0%	男性	8	2	2	3	1
			女性	31	2	23	5	1
④ 現状のまま維持した方がよい	50	25.6%	男性	7	1	2	4	
			女性	43	4	27	10	2
⑤ どちらともいえない	15	7.7%	男性	4	2	1	1	
			女性	11		6	4	1



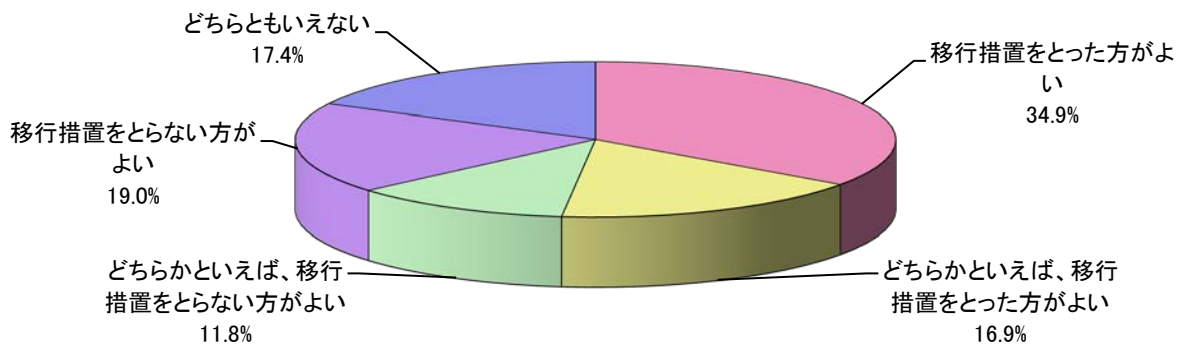
設問41 集会施設及び体育施設については、登録団体の減額措置の廃止と使用料の改定に伴い、負担が大きくなる部分があることから、改定後の使用料が、現行使用料より引上げとなるものについては、引上げ額が概ね均等になるよう、別表のとおり3段階での移行措置をとり、利用者の急激な負担の増加を抑えることにしました。このことについて、あなたの考えに近いものをお選びください。

(設問41別表)

	第1期	第2期	第3期
	(平成27年1月1日～平成28年3月31日)	(平成28年4月1日～平成29年3月31日)	(平成29年4月1日以降)
改定使用料が引き上げになるもの	一部引き上げ	一部引き上げ	改定使用料を適用
改定使用料が引き下げになるもの	改定使用料を適用(引き下げ)	⇒	⇒

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 移行措置をとった方がよい	68	34.9%	男性	24		13	8	3
			女性	44		31	13	
② どちらかといえば、移行措置をとった方がよい	33	16.9%	男性	9	2	1	4	2
			女性	24	1	16	7	
③ どちらかといえば、移行措置をとらない方がよい	23	11.8%	男性	7		3	4	
			女性	16		12	3	1
④ 移行措置をとらない方がよい	37	19.0%	男性	5		2	2	1
			女性	32	3	21	7	1
⑤ どちらともいえない	34	17.4%	男性	8	3	2	3	
			女性	26	5	14	4	3

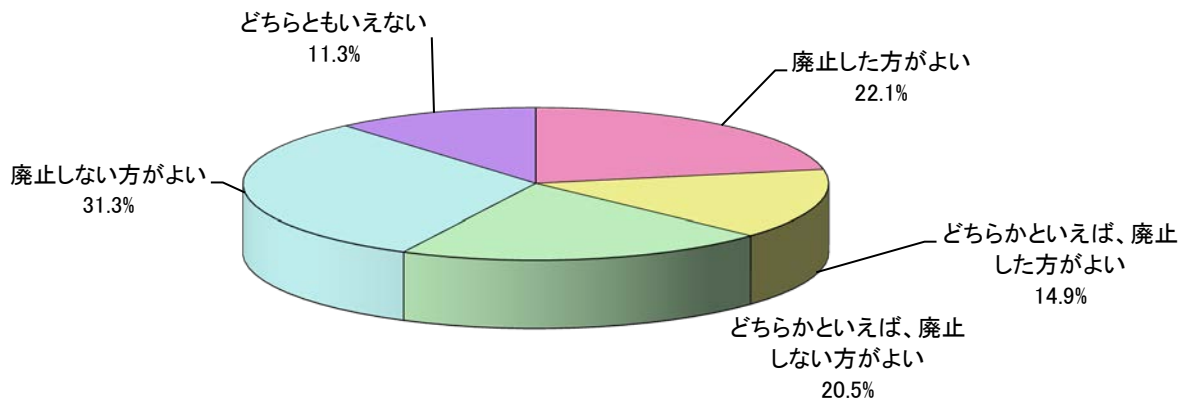


設問42【集会施設(地域区民センター・区民会館・区民集会所など)】

地域活動や文化・芸術活動を支援するため、「地域登録団体(さざんかーど登録団体)」については、使用料を2分の1に減額してきました。しかし、現在、こうした団体利用が全体の7割程度を占めるようになり一般化したこと、また、その減額された部分は公費(税金)によって補填されていることなどから、この2分の1の減額制度を廃止する考えです。あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上	
	人数	割合	男性	女性					
① 廃止した方がよい	43	22.1%	男性	24			12	9	3
			女性	19			16	3	
② どちらかといえば、廃止した方がよい	29	14.9%	男性	8			2	5	1
			女性	21	1	15	4	1	
③ どちらかといえば、廃止しない方がよい	40	20.5%	男性	8	2	3	2	1	1
			女性	32	2	23	6	1	
④ 廃止しない方がよい	61	31.3%	男性	8	1	3	3	1	1
			女性	53	6	27	18	2	
⑤ どちらともいえない	22	11.3%	男性	5	2	1	2		
			女性	17		13	3	1	



設問43【集会施設】

集会施設(ホール等を除く)については、利用機会の拡大や利用者の負担軽減を図る観点から、使用時間区分等を別表のとおり見直しました。あなたの考えに近いものをお選びください。

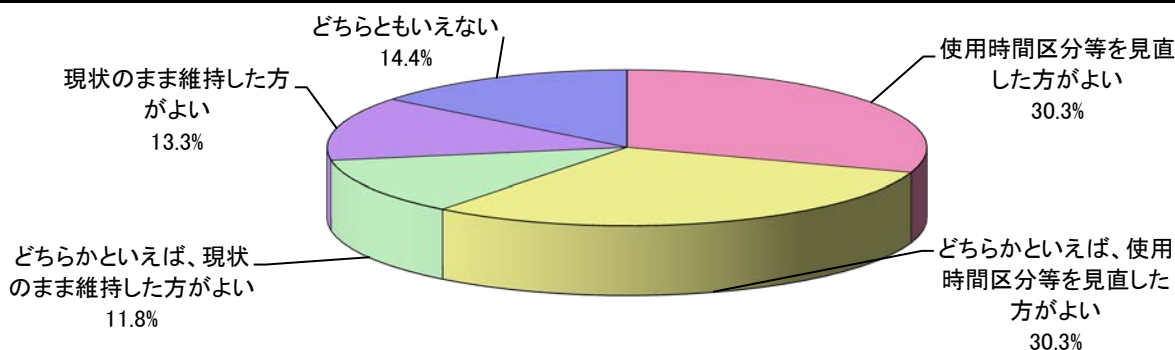
(設問43別表)

現行		見直し後(午後を細分化)	
午前	9時から12時まで	午前	9時から12時まで
午後	13時から17時まで	午後①	13時から15時まで
		午後②	16時から18時まで
夜間	18時から21時まで	夜間	19時から21時まで

※12時～13時、15時～16時、18時～19時の時間帯については、延長(前・後)利用が可能です。

N = 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 使用時間区分等を見直した方がよい	59	30.3%	男性	21		10	9	2
			女性	38	1	30	7	
② どちらかといえば、使用時間区分等を見直した方がよい	59	30.3%	男性	21	2	6	9	4
			女性	38	3	20	12	3
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	23	11.8%	男性	3	1	2		
			女性	20	2	16	2	
④ 現状のまま維持した方がよい	26	13.3%	男性	3		2	1	
			女性	23	3	11	8	1
⑤ どちらともいえない	28	14.4%	男性	5	2	1	2	
			女性	23		17	5	1

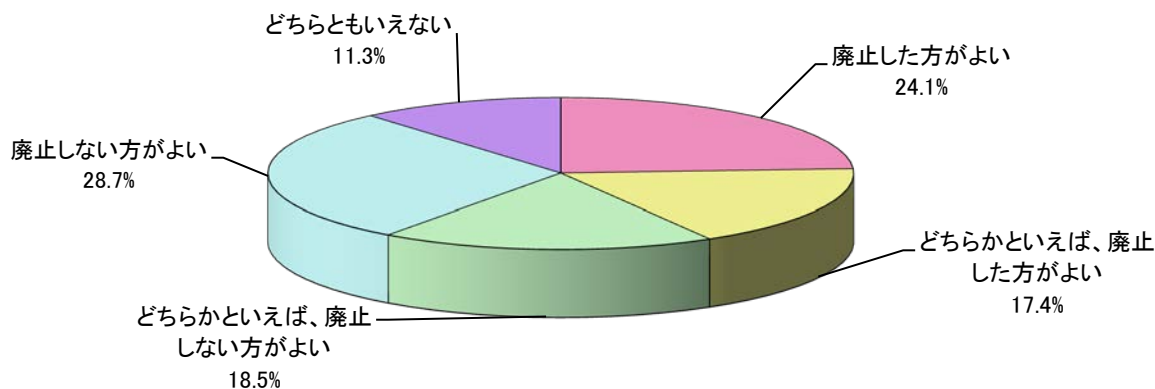


設問44 【体育施設(体育館・運動場・庭球場・プールなど)】

スポーツを通じたまちづくりを支援するため、「社会体育団体」については、使用料を2分の1に減額してきました。しかし、現在、こうした団体利用が全体の7割程度を占めるようになり一般化したこと、また、その減額された部分は公費(税金)によって補填されていることなどから、この2分の1の減額制度を廃止する考えです。あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N = 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 廃止した方がよい	47	24.1%	男性	26	1	11	11	3
			女性	21		18	2	1
② どちらかといえば、廃止した方がよい	34	17.4%	男性	8	1	2	3	2
			女性	26	3	13	10	
③ どちらかといえば、廃止しない方がよい	36	18.5%	男性	7		3	3	1
			女性	29	1	23	4	1
④ 廃止しない方がよい	56	28.7%	男性	7	1	4	2	
			女性	49	5	30	12	2
⑤ どちらともいえない	22	11.3%	男性	5	2	1	2	
			女性	17		10	6	1

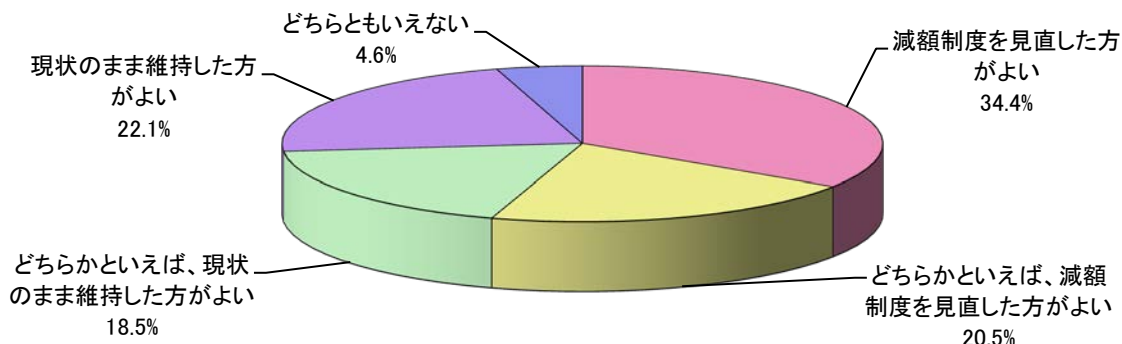


設問45 【体育施設(屋内温水プール)】

現在、屋内(温水)プールの一般使用料(250円)について、区内在住の60歳以上の方を対象に半額としています。区では、高齢者に対する減額制度を見直し、半額となる年齢要件を65歳以上に改めるとともに、平日午前の利用に限定する考えです。あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 減額制度を見直した方がよい	67	34.4%	男性	28		14	9	5
			女性	39	2	31	4	2
② どちらかといえば、減額制度を見直した方がよい	40	20.5%	男性	6	1		4	1
			女性	34	2	22	10	
③ どちらかといえば、現状のまま維持した方がよい	36	18.5%	男性	8	1	4	3	
			女性	28	1	21	6	
④ 現状のまま維持した方がよい	43	22.1%	男性	7	1	2	4	
			女性	36	4	16	13	3
⑤ どちらともいえない	9	4.6%	男性	4	2	1	1	
			女性	5		4	1	

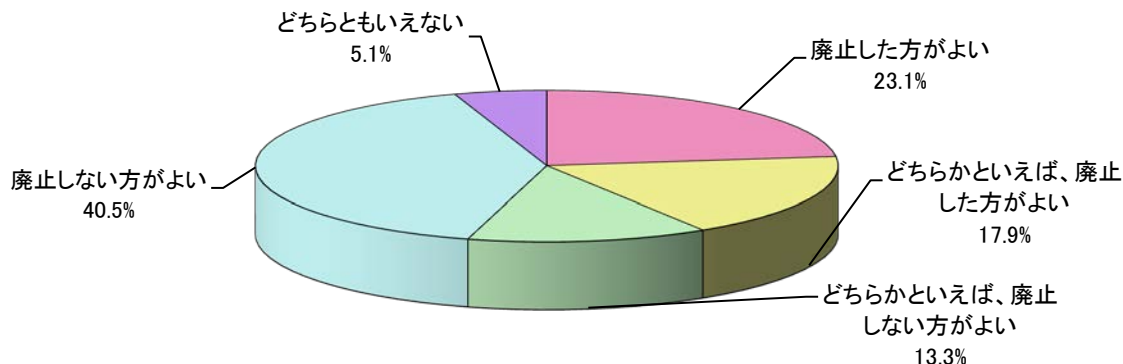


設問46 【学校開放事業】

学校教育活動に支障がない範囲で、校庭・体育館・教室・会議室等を開放しています。利用者は使用料を負担することが原則ですが、教育委員会にあらかじめ登録した団体は、使用料を徴収しない(無料)こととしており、その利用が全体の約9割占めています。区では、この登録団体の使用料無料の取扱いを廃止する考えです。あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 廃止した方がよい	45	23.1%	男性	24		12	9	3
			女性	21		16	5	
② どちらかといえば、廃止した方がよい	35	17.9%	男性	6	1	1	2	2
			女性	29	2	15	11	1
③ どちらかといえば、廃止しない方がよい	26	13.3%	男性	5	1	2	2	
			女性	21	1	14	4	2
④ 廃止しない方がよい	79	40.5%	男性	13	2	4	6	1
			女性	66	6	44	14	2
⑤ どちらともいえない	10	5.1%	男性	5	1	2	2	
			女性	5		5		

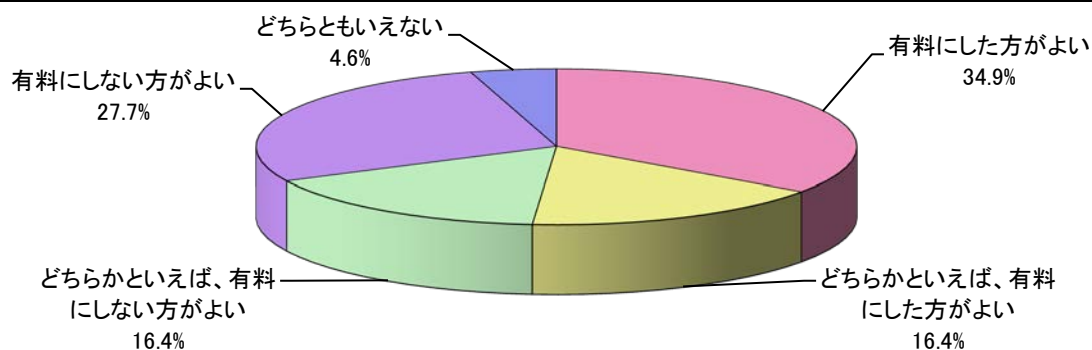


設問47 【学校開放プール】

現在、7月下旬から8月中旬にかけて、一部の学校プールを無料で開放しています。区では、これを区内在住・在学の児童生徒及び乳幼児を除き、有料(200円)にする考えです。あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 有料にした方がよい	68	34.9%	男性	30		12	13	5
			女性	38	1	29	7	1
② どちらかといえば、有料にした方がよい	32	16.4%	男性	7	1	1	4	1
			女性	25	2	14	9	
③ どちらかといえば、有料にしない方がよい	32	16.4%	男性	5	2	3		
			女性	27	1	16	8	2
④ 有料にしない方がよい	54	27.7%	男性	8	1	4	3	
			女性	46	5	31	9	1
⑤ どちらともいえない	9	4.6%	男性	3	1	1	1	
			女性	6		4	1	1

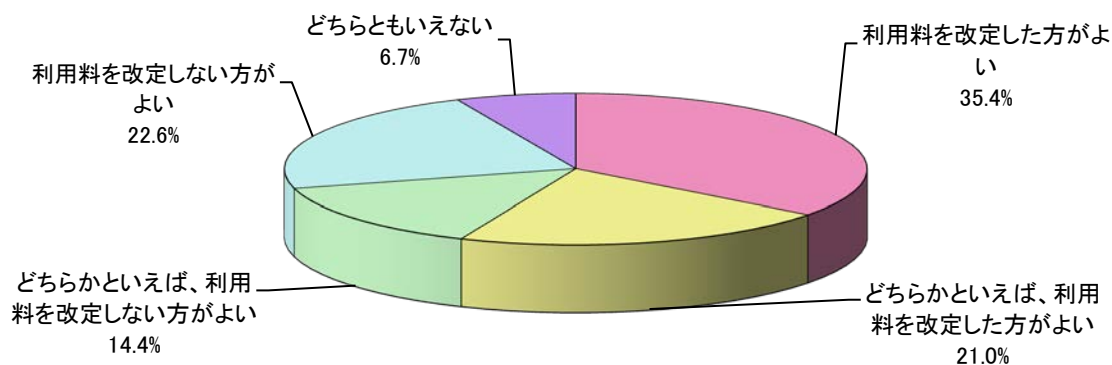


設問48 【学童クラブ】

学童クラブ利用料(現在、月額3,000円)は、平成14年度から改定しておらず、学童クラブ登録児童数が増える中で、学童クラブ運営費も増加しています。また、他区の利用料と比較しても低廉な金額となっています。このため、区では学童クラブ利用料の算定を行い月額4,000円とすることにしました。あなたの考えに近いものをお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用料を改定した方がよい	69	35.4%	男性	23		12	8	3
			女性	46		36	10	
② どちらかといえば、利用料を改定した方がよい	41	21.0%	男性	11	1	1	7	2
			女性	30	3	19	6	2
③ どちらかといえば、利用料を改定しない方がよい	28	14.4%	男性	4	1	2	1	
			女性	24	2	14	8	
④ 利用料を改定しない方がよい	44	22.6%	男性	12	2	6	4	
			女性	32	3	19	8	2
⑤ どちらともいえない	13	6.7%	男性	3	1		1	1
			女性	10	1	6	2	1

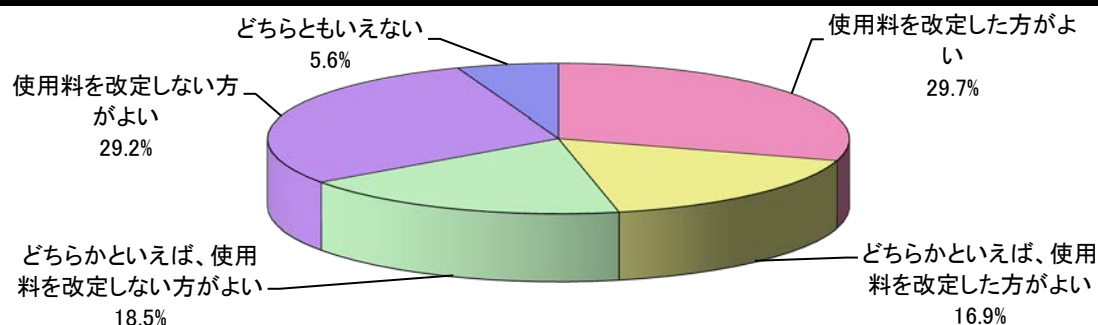


設問49【有料制自転車駐車場(駐輪場)】

有料制自転車駐車場使用料は、平成14年度の改定から一定の期間が経過し、この間、自転車駐車場の整備も進み、運営費の増加が見込まれています。こうしたことから、経費の原価計算を行い、定期利用の使用料を引き上げることになりました。あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N = 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 使用料を改定した方がよい	58	29.7%	男性	24		10	10	4
			女性	34	2	27	4	1
② どちらかといえば、使用料を改定した方がよい	33	16.9%	男性	7	1	1	3	2
			女性	26		16	9	1
③ どちらかといえば、使用料を改定しない方がよい	36	18.5%	男性	9	2	3	4	
			女性	27	1	19	7	
④ 使用料を改定しない方がよい	57	29.2%	男性	12	2	7	3	
			女性	45	5	25	12	3
⑤ どちらともいえない	11	5.6%	男性	1			1	
			女性	10	1	7	2	

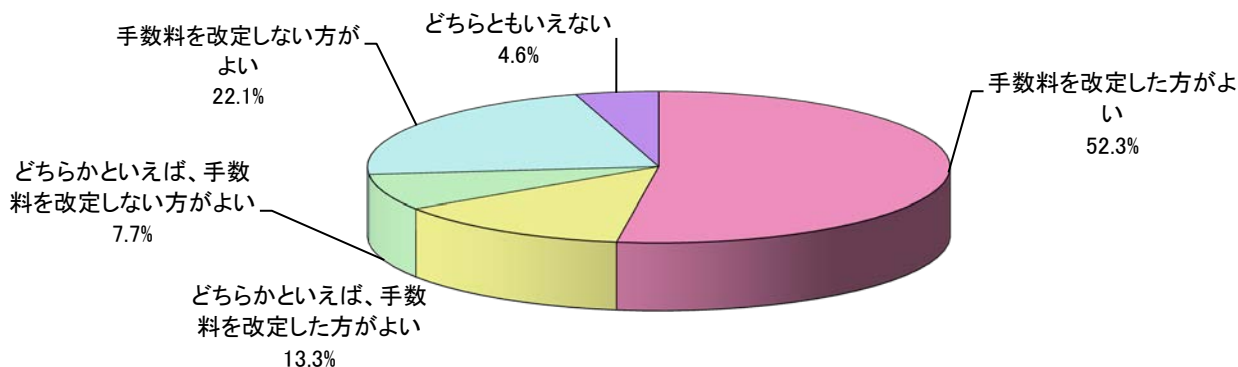


設問50【放置自転車対策】

放置自転車撤去手数料は、現在3,000円ですが、平成23、24年度決算による1台当たりの撤去費用と他自治体の撤去手数料の状況等を踏まえ、撤去手数料を5,000円に引き上げる考えです。あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N = 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 手数料を改定した方がよい	102	52.3%	男性	34	3	14	12	5
			女性	68	4	52	11	1
② どちらかといえば、手数料を改定した方がよい	26	13.3%	男性	7		2	5	
			女性	19		9	10	
③ どちらかといえば、手数料を改定しない方がよい	15	7.7%	男性	1			1	
			女性	14		10	3	1
④ 手数料を改定しない方がよい	43	22.1%	男性	10	2	5	2	1
			女性	33	5	19	6	3
⑤ どちらともいえない	9	4.6%	男性	1			1	
			女性	8		4	4	

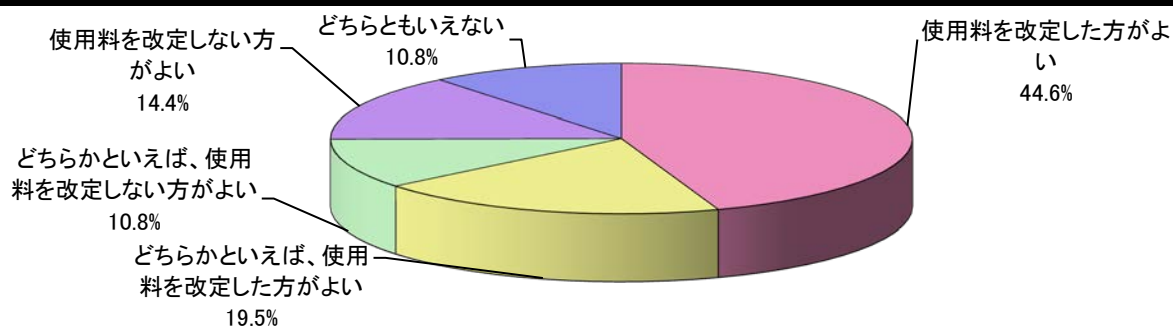


設問51【有料駐車場】

現在、50台以上の収容規模がある区役所本庁舎、井草森公園、上井草スポーツセンターの3施設の駐車場を有料化していますが、その他の施設の駐車場は無料となっています。区では、50台以下の施設であっても管理形態を工夫することにより有料化が可能であることから、新たに4施設(セシオン杉並、松ノ木運動場、高井戸市民センター、下高井戸運動場)の駐車場を有料化する考えです。あなたの考えに近いものを一つお選びください。

N= 195

	全体		性別		10・20代	30・40代	50・60代	70代以上
	人数	割合	男性	女性				
① 使用料を改定した方がよい	87	44.6%	男性	30	1	12	13	4
			女性	57	2	45	8	2
② どちらかといえば、使用料を改定した方がよい	38	19.5%	男性	9	2	1	4	2
			女性	29		18	10	1
③ どちらかといえば、使用料を改定しない方がよい	21	10.8%	男性	5		4	1	
			女性	16	1	11	4	
④ 使用料を改定しない方がよい	28	14.4%	男性	5	1	3	1	
			女性	23	5	10	7	1
⑤ どちらともいえない	21	10.8%	男性	4	1	1	2	
			女性	17	1	10	5	1



設問52 使用料等の見直しに関して、ご意見がありましたらご記入ください。
(自由意見)

*設問29への回答として記入された、使用料等の見直しに関する意見も含めています。

使用料等の見直し全般について

- ・適正な使用料は徴取すべき。
- ・徹底的に精査し、一部の情に流される事無く無駄をそぎとって欲しい。やろうとすれば必ず反対がでますが、ごく一部の理由なき反対者に絶対に流されず、退歩することなく果敢に取り組んでいただきたい。
- ・基本的にただで使用できるのは前時代的な習慣なので 少額でも使用料は取るべきである。
- ・利用者は既得権益化し拡大する一方、税金でしかコストはまかなえない。使用料の見直しはやむを得ない。
- ・どんどん改革を進めて下さい。いい取組です。いままでが異常です。サービス充実と予算は反比例することを区民は知らないのではないのでしょうか？使いたい人がお金を支払う、当たり前なので、いままでの保護された減額処置は即刻見直すべきです。時代にマッチした政策をお願いします。
- ・値上げしても家計負担にさほど影響がないものなら相応の値上げも必要と思います。
- ・使用料の値上げ、および有料化には概ね賛成です。利用する個人が負担することにより、区民税の無駄遣いを無くしてください。もちろん、その効果を数字で公表してください。楽しみにしています。
- ・基本的に受益者負担にすべきで、使用料算定の対象経費についても妥当と考える。
- ・基本的には納税者(家族を含む)へのサービスであり、住民へのサービスでなくていい、使用料は高くしていいのでは。
- ・全体的には、受益者負担の適正化という方向、喫緊の課題への重点化という趣旨には賛成します。
- ・受益者が負担する形を明確にするべき。今の状況は、受益者負担の概念からかけ離れている。
- ・利用者負担を大にし、減税せよ！
- ・サービスを維持するための応分の負担はすべきだと考えます。
- ・区の施設の使用料については、使用する者が負担するのが当然だと考えます。自身が使用しない施設に関してのみ増額を希望するのではなく、それぞれの世代・使用するニーズに渡って満遍なく区民に負担させることが公平性を保つことだと考えます。
- ・使用料引き上げは区民活動の衰退につながります。しかし、財政のためならしょうがないです。使用料が払えない少人数の活動のためフリースペースを増やしてください。
- ・娯楽で使っている人と、社会貢献的に使っている人の使い方が異なるので、地域社会貢献の中で使用している人が頭を痛めることのないようにしてほしい。
- ・学校施設など学校関連や地域振興については無料とし、地域事業など有益なものについて有料化が望ましい。また、有料化などで利益目的となり、学校施設や公共施設が、子どもたち以外の目的で使用されてしまうことは、本来の施設のあり方が問われると思う。
- ・税金を払ってない大人は有料にすべきでは？
- ・無料のところは少しは料金をとるべきかな？でも、すべて値上がりでは住みにくい。もう少し人件費とかの無駄の節約を第一にしてからにしては？
- ・区民に負担が響かない程度でお願いします。区民に負担がくるのではなく、税収が増える方法をみんなで考えるのも必要かと思えます。
- ・公的施設の目的からいって、どの使用料金についても、低所得者層が利用できにくくならないようなシステムを導入して欲しい。
- ・いずれの場合にあっても、従来とは異なる軽減制度(例えば被災者支援の活動利用・障害者団体の活動など、「公共の福祉にかなう」などの理由でいくつかの類型化できる場合を限定列挙するなど)を設けて欲しいと思う。
- ・利用料の値上げは区の財政状況からやむを得ない部分もありますが、利用者の中に、本当に家計的に苦しい人もいます。登録申請等で減額措置など考慮する必要があると思います。
- ・管理維持費等を踏まえ、適正価格なのであれば使用料の値上げは止むをえない。但し、管理工程や維持経費などの情報公開は行って欲しい(単に管理維持費がかかるの一言だけでは納得し難い)。
- ・利用され繁盛している施設は大切に考えて、慎重に運営して欲しい。
- ・「利用料」を増額した分、その施設のメンテナンスや、向上に活かして欲しい(整備や人材への利用)。単純に「収益」や利用者「減」を目指すためならば、増額へは反対です。
- ・必要に迫られ仕方がない事なのかもしれませんが、全体的にとても冷酷な印象を持ちます。平成9年から世の中の物価はあがっていません。特に高齢者に対する減額制度見直しというのは、福祉充実に逆行しています。これが実施されてしまったら、高齢者に冷たい杉並区という印象が濃くなります。本当に必要に迫られた見直しなのかと疑念を持ってしまいます。

- ・有料化に関して、地域活動および、ボランティア活動、生涯学習活動など自主的な活動が盛んであることが現在の問題点になっている。そのことで、お互いがシェアするという考えの基で、料金を変えたり、有料化する必然性が来ることになるということは理解できる。しかし、料金設定が高い上に減免措置がなくなるということも乱暴に思う。
- ・子どもが利用する施設の使用料金を値上げすると利用者が減少して、赤字になるだけだと思う。現状維持して欲しいです。
- ・区民への負担が多すぎではありませんか。
- ・こんなに使用料が高くなると、区の施設ではなく私立の施設と変わりませんか。若者やお年寄りが利用しづらくなるばかりではないですか。公の施設なのに、使用料が高いせいで使いたくても使えない人が出るようになるのはおかしいと思います。納得のいかない値上げが多いです。
- ・財政難の場合は他の対処方法があると思います。
- ・使用料等の見直しについて意見があるのはとても良いと思うのですが、使い方次第でもっと無駄を省けば現状の料金でも可能だと思います。
- ・消費税増税が決まっている中で、区施設の利用料金の値上げは利用者の負担増が大きすぎます。
- ・利用者が多いものや、必要性の高いものについては、現行のまま様子を見てはどうでしょうか。
- ・これらの有料化は結局子育て世帯への負担増にしかありません。今度どこの年齢層が使用する頻度が高いかを考えれば明白かと思えます。児童館も減らし各種利用料も値上げし子ども手当も増えないままでは私達子育て世帯はますます苦しくなる一方です。数を減らしたり値上げをするのではなく、現場の施設を有効活用して利益を産む構造にするよう努力して下さい。
- ・現状のままで、あえて変えなければならぬ理由がやはり納得できない。
- ・現存施設を廃する一方で、改築や新築、駅前コンクリ開発などをする余裕があるのだから、値上げはするべきでない。区の「使用負担公平」の考え方は冷酷で間違っている。消費税も上がるし物価もあがるのに、就職できない人が多く、年金も下がるので、高すぎる値上げは反対。
- ・今回の見直しでは殆どの使用料が値上がりしていますが、現在の利用者の7割が団体に半額であり、今後全額支払うようになるのであれば、全体的に少し値下げしても良いのではないのでしょうか？団体によっては、倍の使用料を払うことが困難で解散を余儀なくされることもあるでしょう。私が見る限り、利用者は年輩の方が多いように思われますので、そういった方の居場所や生きがいを奪ってしまうのは気の毒に思えます。区民センターの一階には、無料で憩える(将棋などもできる)場所がありますが年輩の方でほぼ満席状態です。皆さん、気軽に集える居場所を求めているのではないのでしょうか？
- ・絶対に反対です。今まで通りが希望！！
- ・子どもと老人に優しい料金を継続してください。
- ・むやみに料金値上げを掲げるようなおかしな案を提示する前に一般庶民が本当にどんな施設を必要としているのかよく調べてください。財源確保は別にあるのではないのでしょうか。
- ・施設の使用料をすべてあげていくのは、区民の生活に沿っていない気がします。経費の削減を考えるなら、もっと区役所自体をスマートにするとか、職員ももっと企業並みに、優秀な少人数の人間でやっていくなど努力もしてからにしてほしいです。
- ・日常的に施設を利用するのは、高齢者が多いでしょう。勤労者であった時はみんな税金を払っても恩恵にこうむることはなかったのですが、それは先行投資だと思っていたのです。自分が高齢者になったときにお世話になるのだからと、世の中ってそうして回っているでしょう。子どもは「来た道」、高齢者は「行く道」と考えながら支えあっていくのが世の中でしょう。もう少し広い視野で施策してください。
- ・施設利用料の見直しを考える前に、使用されていない不要な施設の廃止を検討いただきたいです。使用料率などを統計しておりますでしょうか？もっと利用率を上げて、収入を上げるという方法をとるべきだと思います。使用率の多い部屋は、本当に使用したいのに、いつも満室ということで、仕方なく民営の場所を使っているという方々、団体も多にいるかと思えます。文化を奨励する区こそが杉並区です。再度ご検討をお願いいたします。
- ・区民の文化活動を充実させるため、利用料は値上げせず利用者を増やすようにしていくといいのではないのでしょうか？公共の福祉という視点で今までの使いやすい料金設定を変えないで欲しいです。
- ・あまりにも大幅な値上げに反対です。集会施設の統廃合と値上げで、区民活動をやらせないようにし向けているとしか思えない。絶対反対です。
- ・区民は税金を払っています。受益者負担というけれど、児童館、ゆうゆう館、集会所、学校開放施設、それぞれさまざまな区民が利用している。受益者負担を突き詰めれば、区役所で相談するのも相談料をとることになるのですか？
- ・区の施設であるので、税金を払っている分、区民の利用料は他地域の方たちの利用料より優遇されないとおかしいと感じます。また、区民の活動の場所として利用する施設は文化面、健康面でも役立っており、利用しやすい価格で利用率を伸ばしていく方向の策を考えた方が良く考えます。
- ・区民の参加を奨励する施設の使用料の見直しは、よく考えるべきだと思う。(区民センター、プール、運動場など)お金がないからなんでもお金を取るという考えでなく、区民の利用を増やし、健康で明るい区にするために高齢者も幼児も外に出て交流を図れるようなものを増やし、区民に還元することも大切なのではないかと？

検討方法・決定プロセスについて

- ・この見直し案を立ち上げる前に、施設利用者へのヒヤリングなどはおこなわれたのでしょうか？単に利用率を見るのではなく、どのような人達が、どのように使っているのかということに着目して、区民が参画した使用料の検討をおこなっていただきたいと思います。
- ・コストを明確にして利用者の判断を仰ぐようにするのが現実的だと思います。
- ・3～5年程度で見直しを行って使用料が妥当な金額になるようにしていただきたいと思います。その結果、有料化、負担増になるのはやむを得ないと考えます。
- ・区議会議員選挙、区長選挙で信を問うてからやるべき。しかもなんで一気にやろうとしてんの。

登録団体の取扱いについて

- ・一部の人独占して使用し、恩恵を受けている状態であれば、改善すべき。
- ・グラウンドの利用は安いからと言って大学生のサークルが良く使用し騒いで使用し、騒いで帰る(道路に広がり歩く等)。なので、区の納税資格がない人には高くして使用を抑制。
- ・費用負担に困らない人や団体に対しては、しっかり使用料を徴収すべき。また、活動で何らかの収益がある場合は、割増料を徴収するなど考えるべきではないでしょうか。
- ・カードをもらって半額等の援助を受けている団体の活動内容や認定基準が不透明なので判断できない。範囲を狭めつつ障害者団体などには配慮を求めたい。
- ・経費を定期的に精査するのは当然だと思います。しかし受益者負担の公平化という使用料を上げる根拠は疑問です。使用は希望するものには開かれており、使っていない区民も負担するのは不公平というのは、殆どの施設に当てはまり説得力に乏しいのではないのでしょうか。私は文化活動に区の施設を利用しており、登録団体であるために杉並区民でいましたが、今後は区外への転居も視野にいれていきます。行政がどういった住民に手厚く予算を配分するかで、どこに住みたいかを定める傾向は益々強まっていると思います。杉並区はおそらく幼児、児童と高齢者に重点をおき、その他の層はとりえず我慢してもらおうという策を取られたのでしょうか。それは一つの見識だと思います。それに魅力を感じる区民が残ればいいということでしょう。パラマキではなくどこに重点配分をするか明確に区民に説明される方がすっきりすると思います。
- ・地域登録団体などの指定団体の使用料金を引き上げるより特定の団体以外の使用を拡大すべき(利用制限の緩和など)。
- ・使用料だけで施設の維持はできていないと思うので、登録団体の使用料の減額に税金が使われているという説明は誤解を招くと思う。個人使用のためにも税金は使われていると思うので、この料金改訂で、区の財政全体からどの程度のメリットがなるのかも分からない。
- ・登録団体の使用料は段階的に値上げとのことですが、段階的だろうが即時であろうが値上げには変わりなく、地域の区民がささやかに趣味や活動で交流している場まで、取り上げられてしまうように感じます。予約段階で多少優位になるというものの、区民の地域活動がやりにくくなるのは必至です。
- ・受益者負担の観点から理由づけがなされているのには疑問を感じます。区のサービス全てについて考えれば、施設使用料の減額などは重箱の隅をつつくようなものではないのでしょうか？区民が自主的に活動することは、活気ある区民を増やし区としても有益なことであると思いますが、使用料が値上がりすれば、活動縮小や停止などの事態にもなりかねないと思います。

集会施設使用料

- ・会議室利用料があがると会の運営が厳しくなると思います。できれば現状維持を望みます。
- ・集会施設の使用料は半額でも他区と比べて高いと感じます。さざんかカード半額は維持して欲しいです。

体育施設使用料

- ・温水プール等はよく利用していますが、1時間250円は安くて減額措置はとらなくてもいいと思います。
- ・体育施設などの団体利用に関しては、しかるべき料金を収集すべきだと思う。
- ・テニスやプールなどの運動施設の利用料が上がることは賛成です。
- ・体育施設利用料は、今は人気がありすぎてほとんど予約がとれない状況なので、需要と供給のバランスからも上げるのは仕方ないと思います。ただし、運営にかかっているコストを透明化してください。
- ・自分の健康などのための利用は値上げしても良いと思われれます。ボランティアなどで、運営費が無いような団体の場合は使用料の値上げは痛手です。スポーツ施設での登録方法(違う場所で登録すると複数登録できるという噂があります)を見直し、不正利用を防ぐことも必要かと思えます。
- ・体育施設は設備によってメンテナンス費用が大きく違うので、設備ごとにその利用料金の算定を公にし、受益者負担してもらおう方が良いのでは。また、単に面積で使用料を算定すると却って利用が進まない場合があると思うので、使い勝手など利用状況を見極めた利用料金の設定が必要と思う。
- ・体育施設の使用料が現行の3倍近くになると利用機会を減らさざるを得ません。先日、勤労福祉会館で行われた、東京オリンピックに向け区民のスポーツ機会を増やそうという講演会に参加しましたが、体育施設の使用料がこんなに上がってしまうと、お金の無い人は利用したくてもできなくなってしまい、スポーツの機会は減ってしまうでしょう。区民のスポーツの機会を奪わないで下さい。

- ・スポーツを推進する観点から使用料を極端に上げることに賛成しかねます。現在体育施設を利用している人達には値上げ案が周知されておらず、計画案の不透明さを感じます。体育施設にお知らせを張り出すなどして、利用者の意見をしっかりと集約した上での対応を強く望みます。ちなみに前区長の在職中は、将来に向けた貯蓄の様な形がなされていたと記憶していますが、区長が代わり、そのストック分を使い切ってしまったという話も聞いています。全てを一新するのではなく、よいシステムは残すといった柔軟な対応は難しいのでしょうか？他地域より施設等が充実している点で、杉並区を評価しています。その分他地域より税金も多く払っているはず。その辺りをしっかりと考慮されることを望みます。
- ・高齢者のプール使用料は健康維持の観点から現状維持でいいのではないかと思います。
- ・プールの高齢者の引き上げですが、5歳も引き上げたら所得の少ない方にもすごい負担となり、寝たきりの高齢者を増やさない為の健康増進の活動にマイナス要因をものすごく感じます。
- ・使用料を最終的に3倍近くあがることから、部費を値上げせざるをえず、使用回数を減らすことも考えなければなりません。安価にスポーツを楽しめる、市民のささやかな楽しみが残念です。今後物価が上がるでしょうときに使用料の値上げは反対です。
- ・体育施設の利用料の見直しは3段階とはいえ、あまりの金額の大きさに皆驚いています。スポーツは定期的な練習が必要ですから、継続した利用をしています。その負担の大きさを考えると、体育施設を利用した活動は不可能になります。まして、学校開放利用まで有料化となれば、全ての活動も継続困難となってしまいます。集会施設はまだしも、体育施設には代わりになる場所がなく、定期的な練習(使用)が必要だという点を考慮して、負担額を再考していただけないでしょうか？今後も区民にスポーツを楽しむ機会を与えていただきたいと思います。
- ・最近テレビで室内運動器具場が老人コミュニティとして繁盛している番組があった。使用料は200円で地域の70歳以上の半数にも迫るくらいの利用と言っていたように思う。区では体育館のトレーニング機器設備を廃止しているが、施設があるだけでは十分に活用はされないと思うので、区民、とくにこれからは老人が元気に過ごせるように行政で配慮してほしい。
- ・スポーツ施設も、予約方式・金額ともに、団体登録優先に偏り過ぎている。特に、施設料が民間施設と比べて著しく安い区営テニスコートは人気が高く、ほぼ団体登録はシニア団体であり、他の一般区民はコートを借りることはほぼ困難である。アンバランスすぎるのではないかと、予約方式と料金、双方のバランスの取れた方式への改善を求めたい。

体育施設・学校開放施設使用料(併記)

- ・PTA健康づくりの部活動が使用料の値上げで今後、困難になる。
- ・体育施設や学校使用料に改定については基本的には賛成ですが、料金が値上がりする分、施設の備品や設備を整えること・管理者のサービスを充実させつことに努めてほしいと思います。

学校開放施設使用料

- ・学校開放の有料化は、金額が少なくても管理の方が大変に感じる。一方では、学校開放を運営している区民の組織にいくらかの予算が支払われているようなので、このあたりのお金の流れに釈然としないものを感じる。予定に設定された金額は、これくらいはしかたないかという程度のようにも感じるが、もうすぐ年金生活になる身としては、そうならぬと分らない心配も感じる。
- ・屋内温水プールと学校開放プールの設備は格段の差があります。温水プールが250円なら、学校プール200円は高いです。学校プールは夏休み限定ですし、親子の交流にもなるので、無料のままのほうがよいと思います。
- ・学校の体育館だけでも無料にしていだかないと月に4回使うのできついです。
- ・学校施設有料化大反対です。
- ・ただ体育館でスポーツしているだけなのに、1時間500円は高すぎます。空調も使っていないし、昼間は電気もつけてません。使用料の見直しをお願いします。
- ・杉並区の区民プールは値段が高い(府中市など大人も50円で2時間入れるのに、杉並区は1時間200円)ので、学校のプールを期間限定で無料で公開する制度は残してほしい。
- ・学校関連は、学校に子どもがいる人については無料にして、子育て社会にしたほうがよいのでは、プールは子どもだけでは利用できないので、保護者に対する優遇もすべき。
- ・学校施設の利用についてPTAが使用する場合(サークル、親睦会、講演会等)は、現状どおり無料をお願いします。PTA活動は地域活動への入り口でもあります。しかし、そこに引き入れるのが大変難しい現状で、その上金銭的な負担がかかるとなるとますます遠ざかってしまいます。これからの地域の大人を育てる意味でもよろしくをお願いします。
- ・学校開放事業について、子どもの利用だけではなく、その親で構成されているPTA団体については無料利用により、利用を推進すべきであると考えます。PTAの団体の利用が促進されることにより、親同士のタテ・ヨコのつながりが増え、先輩父母に育児や学校での悩みを相談する場が自然にできることで、安心して子どもが育つ場がつかれると考えます。子育て支援は、直接行政が窓口を開設することでもはかられているかと思いますが、スポーツ等を通じて親しくなり、信頼関係を得た人間関係の中、なにげない会話のなかで不安が解消されるといったことも実際の場面では多々あると思います。こうした機会は、PTA活動が盛んになる中で生まれるものですので、PTA活動に対しては使用料を徴収しない、または減額措置をとり一般利用とは区別して頂きたいと思います。

- ・PTAバドミントンサークルで学校の体育館を利用させて頂いています。その場所は、子育てをする母達の交流の場であり、もちろん子どもを連れて参加しているので、子ども達の交流の場でもあります。無料で子どもたちの慣れ親しんでいる学校施設を利用できるということで、安心して利用させて頂いていました。有料となるとサークル運営も難しくなります。税金で賄っていただいていることも十分理解できますが、ぜひ無料で利用できる団体の範囲の拡大を再検討していただきたいです。
- ・小学校のPTAバレーをやってる者です。この度の改定で、学校体育館の利用に使用料がかかる事になるようですが、その場合、どの小学校も金銭的負担が大きくなり、PTAのサークル活動の存続が危ぶまれることになると思います。どこの学校も、どのサークルも限られた人数で、限られた予算の中で活動しています。その活動ができなくなることも考慮された上での改定なのでしょうか？PTAサークル活動の減退も致し方ないというお考えなのでしょうか？できれば、現行のままお願いしたいと思います。
- ・現在、杉並区内学校PTAのサークルに所属し、学校体育館と区内体育施設を利用しています。学校体育館使用時、基本的には保護者がスポーツを通じて交流を深める場ですが、連れてきた子ども達も異年齢で交流がもてたり、先生も参加して下さることもあるので、親も子ども学校に親しむ良い機会になっています。転校してきた私たち親子にとっては、とても貴重な場であるし、実際、学校PTAの役を引き受けるのは、サークルに所属している人が圧倒的に多いです。有料化されることでつぶれてしまうサークルが多いと思います。子育て、学校とPTAの接点の場として重要なので、自校の体育館の利用は無料のまま維持して頂きたいです。よろしくをお願いします。
- ・学校施設の有料化は、PTAサークルは除外していただきたいです。PTAサークルは保護者と学校との親睦の場でもあり、有料になると活動しにくくなり困ります。今一度、ご検討お願いいたします。
- ・小学校PTAのサークルに所属しています。学校体育館を授業が終わった後に利用しています。自分の子どもが通う小学校の体育館利用を有料化すると、ただでさえこの学校でもサークル活動のメンバーが減ってきている中、活動を継続することが困難になることが目に見えています。東京オリンピックも決まりましたが、スポーツ推進とは真逆の方向へ向かうことは間違いありません。場所代がかかる部費の値上げ スポーツ離れ。誰もが考えることです。学校施設の多様化、多機能化は賛成ですが、純粋に学校に携わるPTA会員の活動まで制限するような案には絶対反対です。
- ・荻窪小学校のPTAバレーボール同好会です。27年以降、学校を利用する際に料金が発生すると伺い、驚いております。私たちは、子どもを同じ小学校に通わせている保護者同士の交流を深め親睦を図るとともに、良好な地域住民関係の確立を図ることを目的とし、PTA活動の一環として活動してきました。児童・指導者の団体と同様に子ども保護者によるPTA団体についても再考し、現状のまま利用できるよう考慮していただけるとありがたく存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。荻窪小学校バレーボール同好会 一同所属人数 11名
- ・PTA活動での学校施設利用はすべて無料としてください。子どもが直接かかわらない保護者のサークル活動でも保護者の交流にはとても大切で、一部を有料とする線引きは難しいです。有料化はPTA活動を減速させます。
- ・小中学校の施設はその学校で活動を行うPTAも児童・先生と同じ扱いではないのでしょうか？他の団体と同じ扱いになると今後学校のPTAとして登録している団体は廃止せざる得ないことになってしまうのではないのでしょうか？杉並区はそれを希望しているのでしょうか？杉並区はPTA活動は必要ないとお考えなんのでしょうか。とても残念です。かなり軽視されていると思います。小中学校で作られているPTAの団体使用の学校施設利用料案は断固として反対です。
- ・現在PTAバレー部で活動をしています。PTAバレーは在学中のみの参加で唯一親の交流の場でもあります。少子化でただでさえ部員数が減少しているのに体育館使用料の有料化になりますと益々部員募集しにくくなります。是非ともご検討願います。
- ・学校開放施設の登録団体の利用が9割とのことですが、大人の団体は中身も様々で、利用する学校のPTAメンバーで構成されている団体は、一般(外部)の大人で構成される団体とは、別の扱いで考えていただくことを強く希望します。例えばPTA総会ですが、児童数(家庭数)の多い小学校では、現在教室でなく体育館で行っています。その際の体育館利用が有料になるなど、ありえないことと思います。また多くの小学校にはPTAメンバーで構成されるバレーやバドミントンなどの団体があります。分区毎に親善試合も毎年行われ、その際、当然ながら当番校の体育館が会場となります。使用時間は種目によって異なりますが、最低でも6時間は使用します。その利用も有料化となると大きな負担で、学校の交流が中止される可能性もありますし、日常の練習の使用も有料化となると、現在でもバドミントンはシャトルの値段高騰で経済的な負担が大きいからです、活動存続の危機となります。
- ・学校施設の利用に関して、児童生徒の活動のため、PTA活動のための開放会議室や校庭・体育館の利用は無料が望ましい。
- ・学校に関しての使用料の件ですがPTAの活動に関しては今まで通り無料であるべきだと思います。もっと早い時点で分かりやすいアナウンスが無かったという事は不快かつ不透明さを感じました。
- ・PTA同好会として小学校体育館を利用させて頂いています。これまで無料で使用させて頂いておりましたが、今後有料となると、部費で賄えず、同好会の存続も危ぶまれます。ほかの方が使用しない時間帯をお譲りいただいて使わせていただいていること、またPTAの保護者が同好会活動に積極的に取り組むことで、子どもたちにも親の元気な姿を見せられることはとてもいいことだと思っています。一般の体育施設の使用料が多少値上がりするとしても、何卒、体育館の使用料をこれまで通り無料にしてくださいませよう、部員一同よろしくお願ひ申し上げます。

- ・PTAサークルで、学校開放施設(体育館)を登録団体で利用しています。利用料を1時間以内500円に改定されてしまいますと、現在の部費を2倍以上から3倍以上にしなければなりません、とても気軽に支払える金額ではありません。平成25年2月にありました学校開放更新研修会の資料には、【自主的・継続的にスポーツ・運動に親しむことで、生涯にわたり区民が地域で健康に暮らせるよう、「(仮称)杉並区スポーツ推進計画」を策定。】とあります。しかし、これではとても自主的・継続的にスポーツを楽しむことは出来ません。毎年、ただでさえ新しい部員を獲得することが難しい中、その様な高額な部費が必要なサークルに気軽に参加しようと思う人がいるでしょうか。部員がいなければ、サークル活動を続けることは疎か廃部になってしまいます。決して大袈裟な話ではなく、切実な問題です。しかし、改定の理由についても納得出来ない訳ではありません。500円ではとてもやって行けません。100円~200円が精一杯です。どうか今一度、ご再考下さい。
- ・施設使用料をPTAからも徴収するのは反対です。私には小学生の子どもがおり、PTA活動では役員も経験し、PTAバレーボール部にも所属しております。これまでバレーの練習には、無料で小学校の体育館を使わせて頂き、とても感謝しております。お陰様で、バレーを通して校内のみならず、近隣の小学校の保護者同士の交流もでき、活気あるPTA活動をさせて頂いております。この度の、施設使用料有料化案を受けて、確かに多少の電気代は負担すべきと思いますが、一時間あたり500円という使用料金は、高いです。PTA活動が、活気あるものであり続けるには、金銭的にももっと気軽に参加できるものでなくては、部員も集まらず、活動が継続できません。PTAには、他にも卓球、バドミントン、コーラス... 様々な活動があり、それぞれが活気付くことで、学校を盛り上げ、子どもたちのより良い環境作りに繋がっていると思います。PTAから施設使用料を徴収するのは反対です。
- ・『学校開放施設の施設維持管理に係る対象経費の合計額を、各使用区分の使用回数で案分し、使用可能な総時間数で除し、1時間あたり使用料「原価」を算定しました』とあります。ここで、「学校開放施設の施設維持管理に係る対象経費の合計額」はどのように算定したのか、その根拠をお示ください。授業での利用に伴って発生する経費は、授業実施の経費であって、学校開放事業の経費ではありません。使用料算定の基礎とすべき原価は、学校開放事業のみに関連する原価でなければなりません。学校施設に関する経費をどのような基準で、授業に関するものと学校開放事業に関するものとに配賦したのでしょうか。素案P.18の表では、対象経費の欄に(使用回数案分による)とありますが、もしこれが授業に関する経費と学校開放事業に関する経費を使用回数で按分していることを意味しているとするならば、それは配賦方法として不適切です。たとえば、1日当たり、学校としての利用が1回、学校開放事業の利用が1回とカウントするのは合理的ではありません。学校の授業が終了し下校の時間となるまで、学校開放事業としては利用できないからです。授業時間中は、学校施設を占有する権利を学校は保持しているので、その権利を有している時間に応じて、学校は原価を負担すべきです。したがって、学校施設経費は、学校の全授業時間と学校施設利用団体の使用時間の比で配賦しなければなりません。ご不明な点がありましたら、直接お話しにうかがいますので、ご連絡ください。
- ・今テニスに阿佐ヶ谷中学の校庭を利用しているが、有料化するのであれば、コートでの最低限の整備(定期的にローラーを掛ける等)をお願いしたい。どうせ利用するのであれば、満足の行く環境で利用したい。勿論その経費については応分の負担は利用料として課すべき。

学童クラブ利用料

- ・学童クラブは安すぎないかしら？
- ・学童クラブに関しては、利用させていただいて非常に素晴らしい内容なので、このくらい値上げしてもあまり気になりません。他の区がもっと高いことがあるのも知っています。しかしながら施設再編により学校内学童になった場合、例えば民間業者の参入があるのか、利用できる場所が狭くなるのか、などの内容変更があった場合には、この限りではありません。あくまでも現在の学童クラブであれば、値上げしてもいいと思っています。
- ・学童利用料ももっと高くてもよいと思います。ただし、学童内の活動をより充実させてほしいです。理由：保育園の利用料はもっと高く設定されておりますので、それに比べ学童の利用料は安く感じます。まだ学童を利用したことがないため、現状をよく知りませんが、現在月額3000円と知り安くて驚きました。民間委託し学童活動を充実させるのもよいのではないかと思います。
- ・学童はもし上げるのであれば、5000円くらいにして元教員やカウンセラー、英語指導など資格を持つ人員をもっと配備して習い事併設などにした方がよいと思います。今、いじめの現場は学校でなく学童に移っているように思います。それが無いなら、入会金を作るとか、行事ごとの集金にした方がよいと思います。
- ・学童の利用料増は正直困るが、その分子どもにとって過ごしやすさが増すのであれば仕方ないかと思う。
- ・学童などについては、上げると同時に低所得者家庭への対応(少し安くするとか)も同時にやったほうが良いと思われる
- ・学童クラブ運営費に関しても、学童父母会とかも払っているし(学童費とは別)、人数も多いので十分現状でも賄えると思います。他の区より低廉という理由で値段を上げるのはおかしいです。無駄な用紙を使用していないとか、省けるところを省いてもっと安くして欲しいです。
- ・子育て世帯、とくに生活保護受給するほどではない中低所得世帯に対する負担増となる学童保育料の値上げには反対します。

有料制自転車駐輪場使用料

- ・自転車駐輪場料金は民間と比べて安すぎるのではないかと。交通手段のひとつとして考えた場合、同様の条件の区民でもバスや鉄道を自費利用する人も多いはずである。
- ・有料駐輪場の料金は、定期の期間や一日利用料金の改定を軸として検討すべき。
- ・自転車駐輪場の料金を上げると、止める方が少なくなってしまい、結果路上放置自転車が増えてしまうのではないのでしょうか。
- ・駐輪場のラックは間隔が狭く、上下式の上段や、段差式の傾斜の急なラックは女性の力で自転車を入れるのは大変困難です。老朽化もしており、整備して頂きたいです。現状のままで値上げだけすることには反対です。

放置自転車撤去手数料

- ・放置自転車の撤去手数料はもっと高く設定してもよいのではないかと思います。理由：他の利用料に比べ、明らかに悪意のもととされているものであるから。
- ・放置自転車の撤去手数料は3000円では安すぎると思う。今の倍の料金に上げても良いくらい。利用者のモラルを徹底してほしい。でないと、料金を上げたくらいでは放置自転車の数は減らないと思う。
- ・放置自転車撤去料金は、「撤去するほど赤字」とのスタイルでは意味がない。事業として赤字になる額を算出し、区民に提示することは、放置自転車対策にもつながるのではないかと思います。
- ・放置自転車撤去手数料の内訳はどうなっているのでしょうか。他自治体と比較しても意味はないです。一般的な感覚としては、たかが自転車1台を撤去するのに5000円もコストがかかるというのが、理解し難いです。ペナルティ的に高額に設定しているのか、引き取りにこない人の撤去費用が引き取りに来る人に上乗せされてるのか、色々想像するしかないですが、5000円にしたら、諦めて新しい自転車を買おうという人が増えると思います。
- ・放置自転車撤去料は、自転車の販売額から考えると引き上げた場合に回収にこない人間が増加する可能性が高い。
- ・自転車の放置は高くすると買い替えた方がよくなり引き取りがなくなるのでは。
- ・撤去自転車については、あまり高額になると撤去された自転車を引き取りにくる人が減るのではないかと(安価な自転車が新品で購入できるため)との心配があります。
- ・自転車の撤去料は値上げするならば、駐輪施設をもっと増やして欲しいです。
- ・放置自転車撤去手数料については、駐輪場の整備を更に進めたいので、値上げを行ってほしい。

放置自転車撤去手数料・区施設駐車場の有料化(併記)

- ・放置自転車撤去手数料や駐車場は、絶対的に改定・有料化にすべきだと思います。

区施設駐車場の有料化

- ・有料駐車場に関しては、大型施設を一律に有料化することが不公平をなくすので、良いと思います。
- ・駐車場の有料化は、受益者負担の考えかたから、必須だと思う。いまだ無料であることには驚いた。バス・鉄道を使う区民と、齟齬がありすぎている。民間とも比較して適正な駐車料金を設定することで、過度の車での来場の抑制にもつながるのではないかと。
- ・駐車場も施設規模に応じて差がある方がおかしいので有料化するのでもいいと思います。
- ・使用料は無料だったりすると放置自転車・無断駐車などにつながることも考えられるので、有料にするのは適切かと思う。
- ・高井戸地域の駐車場は駅が近いので有料は納得できるが、松ノ木・下高井戸については一律有料の根拠がないので反対。
- ・駐車場は手続きなどの場合は無料、講座受講などの場合は有料で良いと思います。有料でも停めたい場合もありますが会議や打ち合わせなどで荷物を搬出入する場合、負担は少し辛いです。
- ・諸手続きなどをする場合の駐車料金については一定時間内は無料としたほうが良いのでは。
- ・施設利用者を優先とし、施設利用者にはある程度時間無料にする。

説明会について

- ・今回の説明会では勤務時間外の時間帯で行われた会もあります。前に並ぶ区の部長、課長以下たくさんの職員が臨んでおられましたが、これはサービス残業していただいたのでしょうか。それとも残業代が税金からまかなわれてるのでしょうか。実際、会の中、マイクを持たず発言しない職員がたくさんいました。何か質問をされた時のために担当者が来ているのでしょうか、担当部署の上長が把握していれば、あんなにたくさんの職員は必要ないはず。こういった区役所内のスリム化を最初にしてから、そのあと公共施設の使用料や施設の再編を考えてほしいと強く望みます。説明会での区側の説明も、何を聞いても通り一遍で、企業だったら通用しないような回答が多く見受けられます。区民をなめてるんだなと感じると同時に、もっと区役所内の職員の方の、態度を含めた資質を自ら問い、「お役所仕事」をしない人間の研修・育成をしていただきたいです。そちら側に座ってる区の職員の方々もいずれは一区民として、老人施設を使用する時期がくるでしょうし、孫が児童館を使う時期も来るでしょう。その時のことを想像しながら、取り組んでほしいと思います。

その他の意見

- ・ 自転車駐車場や放置自転車対策での手数料の見直しと同時に、自転車駐車場や撤去作業にかかわるたくさんの無駄な老人を雇っている人件費の削減をすべき。また新規の自転車駐輪場を作るなどして絶対的な駐輪容量を確保して、定期的な撤去作業などの無駄な支出を省くべき。
- ・ これらの金額改定した後、この差額のお金はどこに行くのですか？
- ・ 子育て応援券が区外でも使用できる事は私達の税金の流出でありますし、その券の集計を外注に依頼している点、集会所の会計等も外注で賄っている事は私達の税金の無駄使いです。にもかかわらず区の財政の見直しのような言い回しに違和感を覚えています。
- ・ 保育園の保育料をもう少し上げてもいいんじゃないでしょうか？利用者でさえそう思うのですが、私は低所得者ですが、毎日10時間近く預けていて、お昼ご飯まで出してもらえて、今の金額じゃ安すぎると感じています。時給1万円の医者のお友達がいますが、自分が1日7万円稼ぐために、時給1000円以下の保育士に預けているのは申し訳ないと言っていました。日給1万円のお医者さんなら、1日1万円ぐらいの保育料でもいいんじゃないでしょうか？低所得、高所得ともに見直して良いと思います。ご老人の方の施設は、年金の額に違いがあると思うので、難しいですが、やはり所得に応じて、利用料を負担してもらうのがいいと思います。図書館も利用する人と利用しない人がいるのに、図書館は受益者負担にならないのは何ですか？

本アンケートについて

- ・ 文化厚生にどれぐらいの税金を使うのが適当かということについて説明が無くて、ただこれぐらいの金額でも負担できるかというアンケートになっているので、答えるのに困る。